

標準様式

様式 1

(第 6 条関係・記載例を含む)

文 書 番 号

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

神 奈 川 県 知 事 殿

測量計画機関の長

公 共 測 量 の 実 施 に つ い て (通 知)

横浜市内において、下記のとおり公共測量を実施しますので、測量法（昭和 24 年法律 188 号）第 14 条第 1 項・第 39 条の規定に基づき通知します。

記

1. 作業種類 公共測量（横浜市公共基準点測量）
2. 作業期間 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日から
令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日まで
3. 作業地域 横浜市○○地域

様式 2

(第 6 条関係・記載例を含む)

文 書 番 号

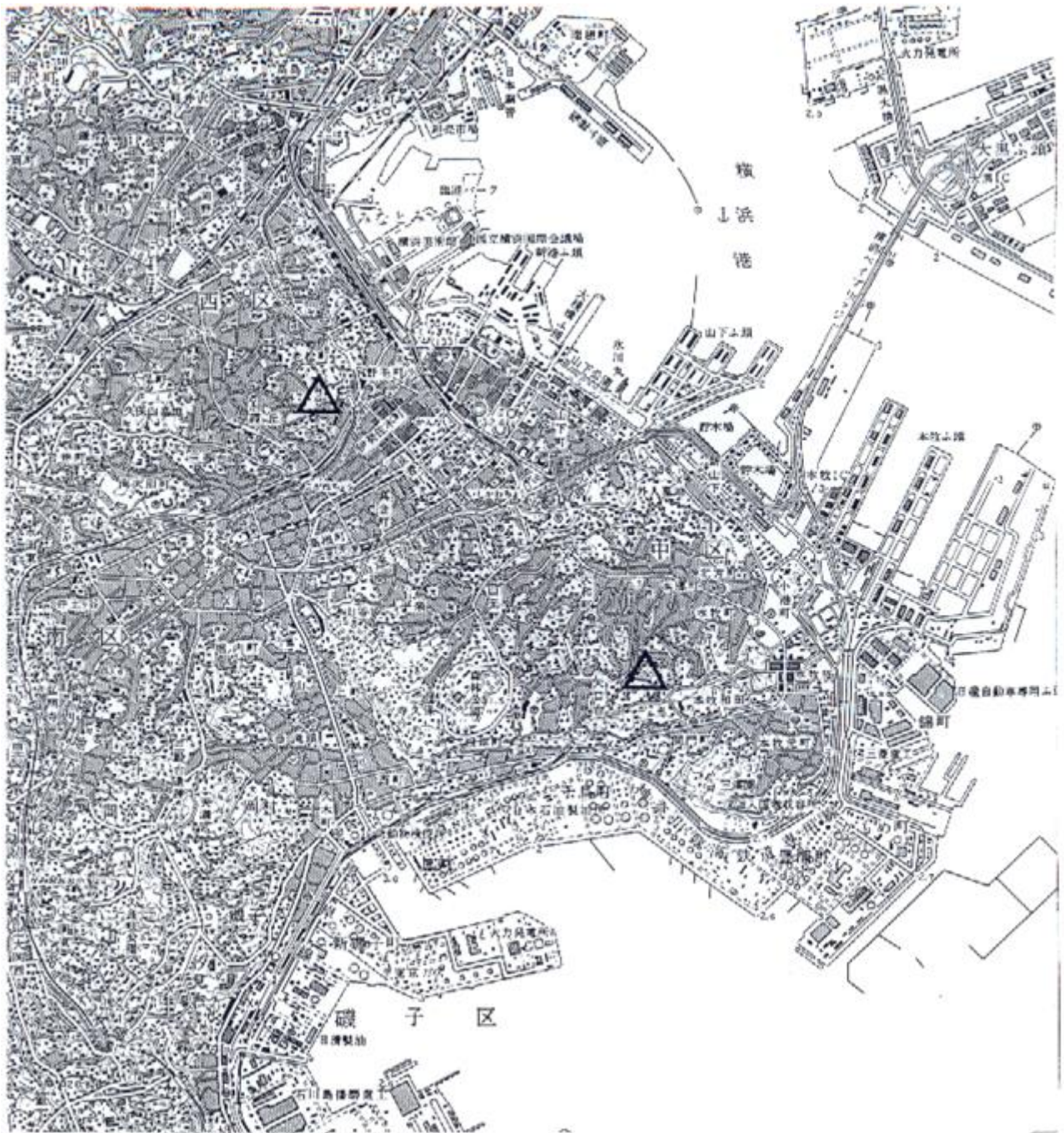
令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

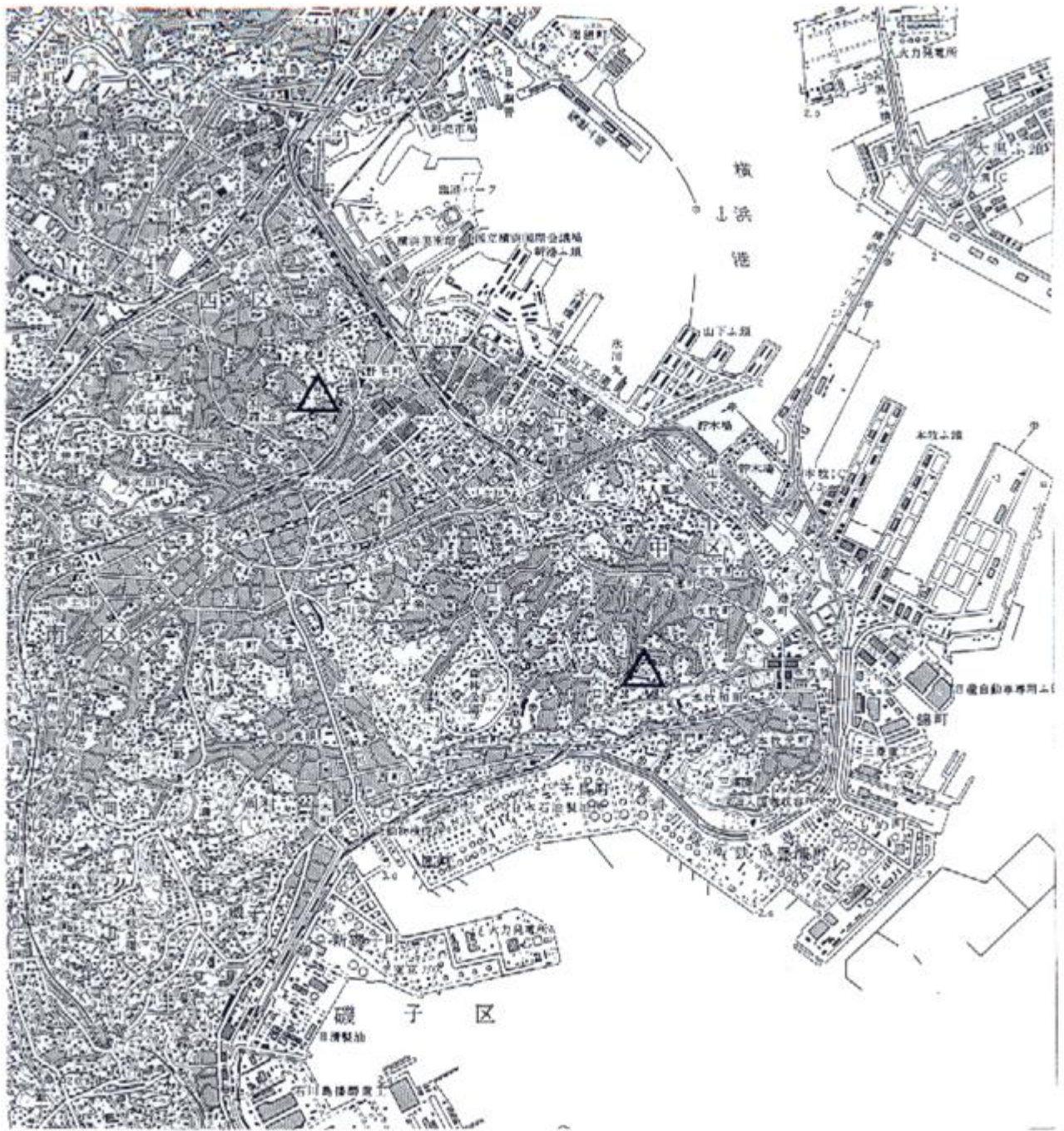
神 奈 川 県 知 事 殿

測量計画機関の長

公 共 測 量 の 終 了 に つ い て (通 知)

令和○年○月○日付け○○発第○○号で通知した公共測量（横浜市公共基準点測量）は、○月○日終了しましたので、測量法（昭和 24 年法律 188 号）第 14 条第 2 項・第 39 条の規定に基づき通知します。





様式 5

(第 6 条関係)

文 書 番 号
令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

国 土 地 理 院 長 殿
(神 奈 川 県 知 事)

測量計画機関の長

測 量 標 の 設 置 (通 知)

(国土地理院長宛は、以下の内容とする)

令和○年○月○日付け○○公第○○号で助言を受けた公共測量の実施に伴い別紙のとおり永久標識を設置したので、測量法(昭和 24 年法律 188 号)第 37 条第 3 項により通知します。

(知事宛は、以下の内容とする)

令和○年○月○日付け○○公第○○号で助言を受けた公共測量の実施に伴い別紙のとおり永久標識(一時標識)を設置したので、測量法(昭和 24 年法律 188 号)第 21 条第 1 項・第 39 条により通知します。

(注)

1. 国土地理院の長へは、永久標識についてのみ通知し、一時標識については通知不要。
2. 測量法第 40 条による測量成果提出の際に設置位置通知書を添付することによって、国土地理院への通知を省略することができる。
3. 別紙には、「測量標設置位置通知書」を添付する。

文 書 番 号
令和 年 月 日

神奈川県知事 殿

測量標の移転・撤去及び廃棄について(通知)

標記について、別紙の通り実施しましたので、測量法(昭和24年法律188号)第37条第4項により通知します。

- (注) 1. 国土地理院の長へは、永久標識についてのみ通知し、一時標識については通知不要。
2. 測量計画機関が都道府県である場合は、知事への通知を省略することができる。
3. 都道府県知事は、法第23条第2項の規定により関係市町村長に通知をしなければならない。
ただし、測量計画機関が市町村である場合は、法第23条第2項を省略することができる。
4. 国土地理院の長へは、正1部を提出する。
5. 都道府県知事へは、正・副各1部、計2部を提出する。

(第6条関係)

文 書 番 号
令和 年 月 日

敷地所有者 殿

測量標の移転・撤去及び廃棄について(通知)

標記について、別紙の通り実施しましたので、測量法(昭和24年法律188号)第23条第1項・第39条により通知します。

別紙は神奈川県知事に提出するものと同一内容のものとする。

(第 36 条関係)

| <p>測量成果 謄本 の 交付申請書 測量記録 抄本</p> <p>測量成果 謄本 測量法第 28 条の規定により下記のとおり の 交付を申請します。 測量記録 抄本</p> <p>令和 年 月 日</p> <p style="text-align: right;">申請者 住所..... 氏名.....</p> <p>国土地理院長 殿</p> | | | | | |
|---|-------------------|------------|-----|-------|-----|
| 使 用 目 的 | | | | | |
| 郵送のときのあて先 | | 〒 TEL | | | |
| 測 量 成 果 又 は 測 量 記 録 の 種 類 | 該当する5万分の1 地形図名 | 謄本又は 抄本 | 数 量 | 手 数 料 | |
| | | | | 単 価 | 小 計 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | | | | |
| 収入印紙貼付欄 (消印してはならない) | | | | | |
| | | | | | |

- 記載 ① 測量成果、測量記録、謄本及び抄本の文字のうち、不要のものを消すこと。
 ② 郵送希望のときは、別に郵便切手を添えること。
 ③ 地形図等に所要点の位置等を記載して添付すること。

(第 16 条関係・記載例を含む)

文 書 番 号
令和 年 月 日

国土地理院長 殿

公共測量成果等の提出について

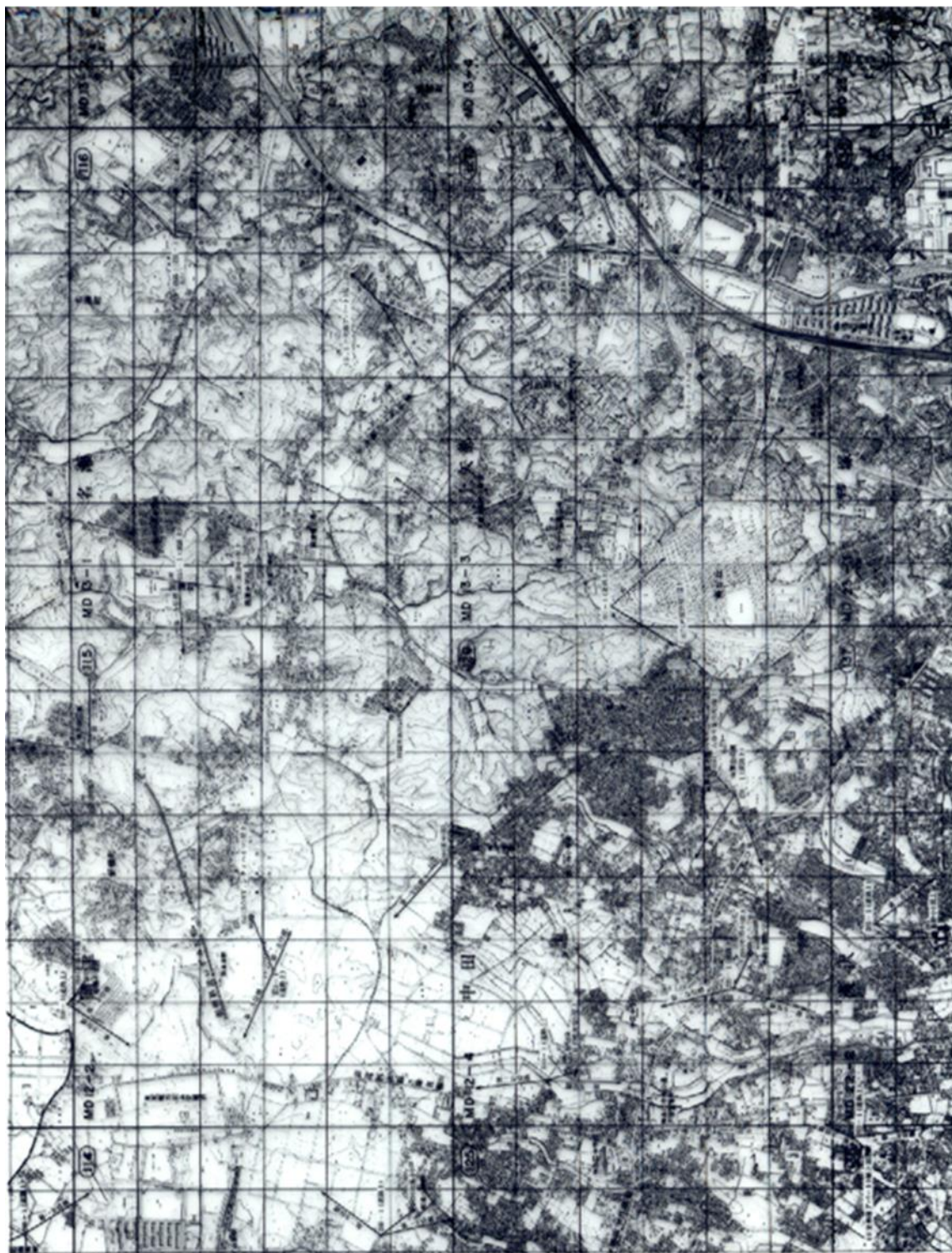
令和 年 月 日付け 公第 号で助言を受けた公共測量実施計画書に基づく
測量成果を得たので、測量法第 40 条第 1 項に基づき下記のとおり提出します。

記

| 成果品の名称 | 〇〇測量成果 DVD (あるいは CD 等) | 数量 | 1 部 |
|--------|------------------------|----|-----|
| 内訳 | | | |
| 1. | 横浜市公共基準点測量成果表の写し | | |
| 2. | 点の記の写し | | |
| 3. | 平均図の写し | | |
| 4. | 観測図の写し | | |
| 5. | 網図の写し | | |
| 6. | 精度管理表の写し | | |
| 7. | 検定証明書・検定記録書の写し | | |
| 8. | 品質評価表の写し | | |
| 9. | メタデータの写し | | |
| 10. | 基準点現況調査報告書の写し | | |
| 11. | 測量標設置位置通知書の写し | | |
| 12. | その他の資料 | | |

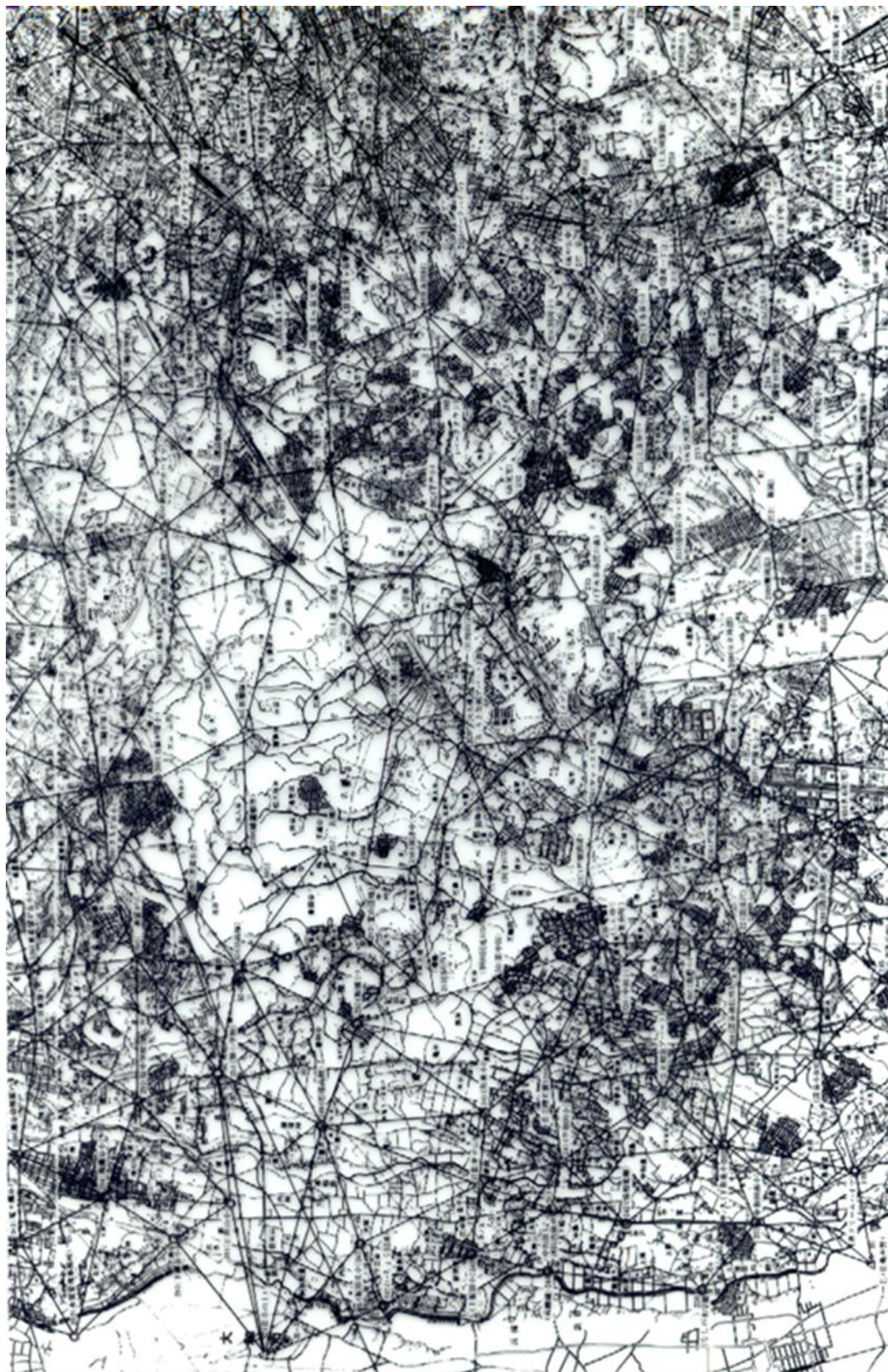
(第34条関係・記載例を含む)

横浜市公共一次基準点配点図
○○○○地区

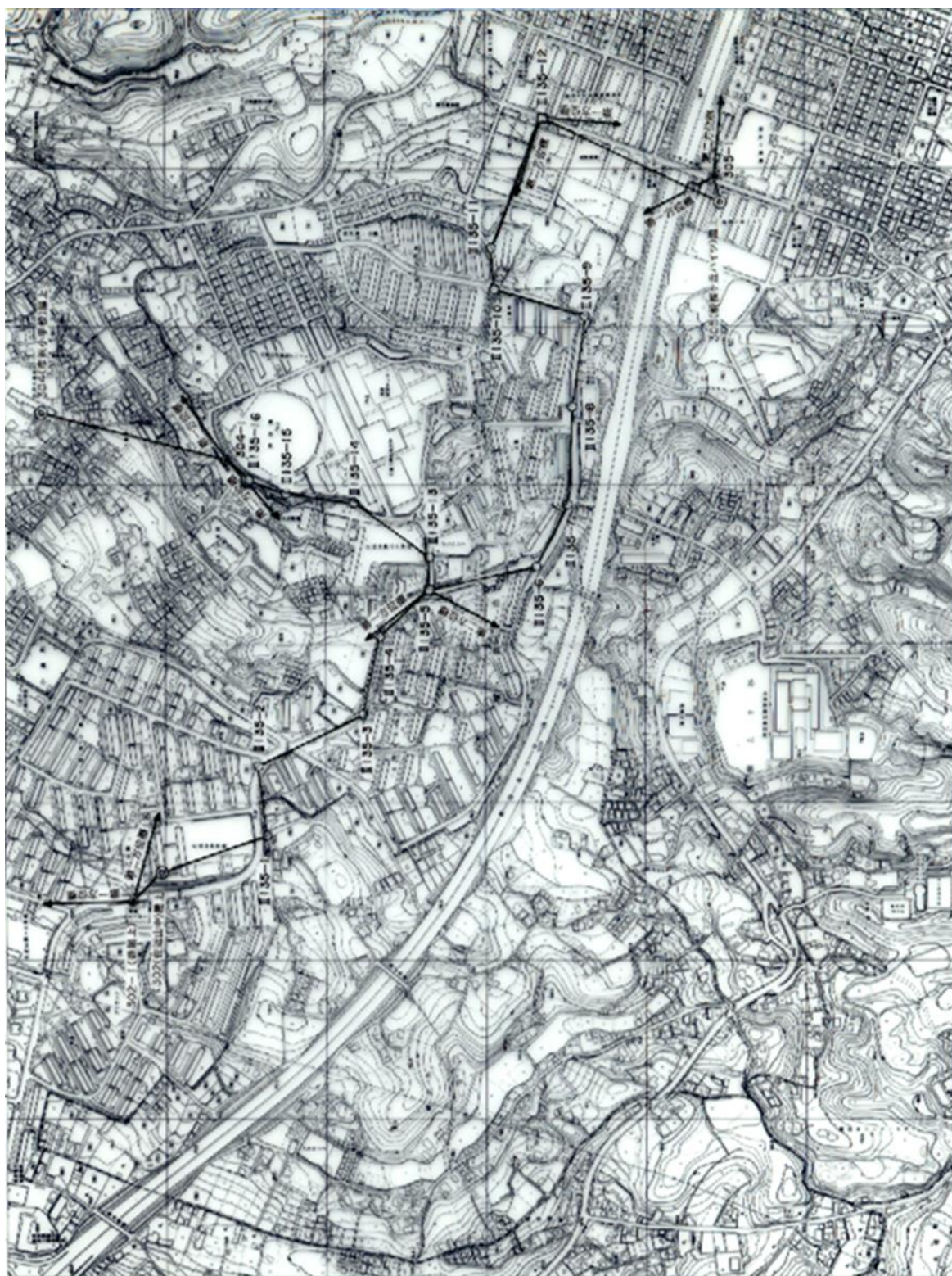


(第34条関係・記載例を含む)

横浜市公共一次基準点平均計画図

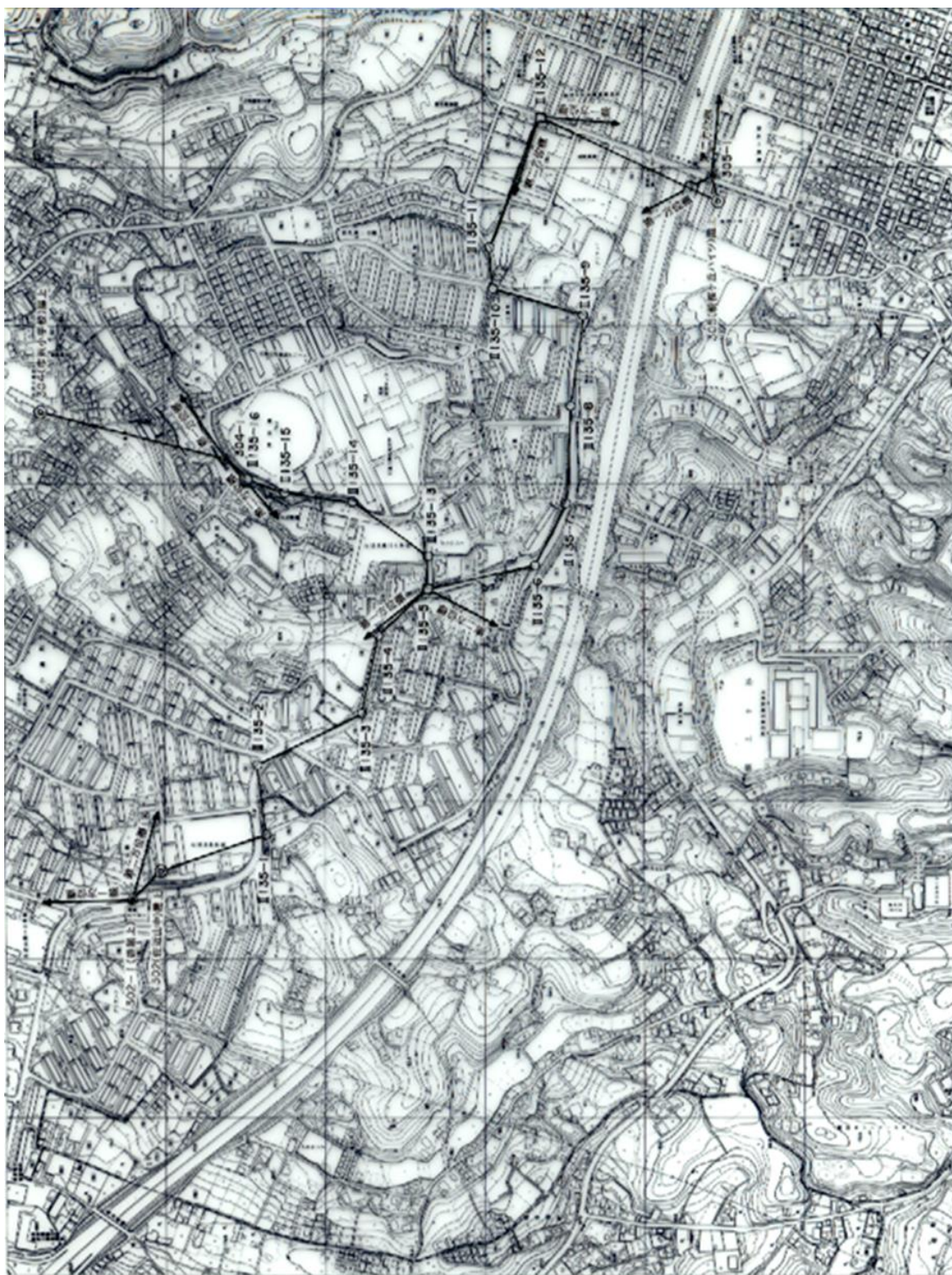


横浜市公共二次基準点配点図



1/25,000 地形図を基図とする。

横浜市公共二次基準点配点図



(第 36 条関係・記載例を含む)

基準点現況調査報告書

令和〇〇年〇〇月〇〇日
 調査年月日 〇〇日間
 令和〇〇年〇〇月〇〇日

作業名 〇〇〇〇測量
 作業機関名 〇〇測量株式会社

| 1 / 5 万 図 名 | 等級 名称 種類 (番号) | 所在地(県、市町村名) | 現況区分 | 現況の 地 目 | 備 考 |
|----------------|--------------------|-------------|------|------------|-----|
| 横 浜 | Ⅲ△ 〇〇山 (000000) | 〇〇県〇〇市 | 不 明 | 山林 | |
| 〃 | Ⅳ△ 〇〇山 | 〃 〇〇市 | 正 常 | 〃 | |
| 〃 | 〃 △ 〇〇〇 | 〃 〃 | 〃 | 〃 | |
| | | | | | |

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

用紙は A4 とする

(第 26 条関係)

- (注) 1. 測量計画機関は国土地理院（所管の地方測量部等）へ1部提出すること。
 2. 測量計画機関は、基準点の現況が分かる写真がある場合は、国土地理院（所管の地方測量部等）へ1部提出すること。
 3. 現況区分については下記の表を参考に記載すること。

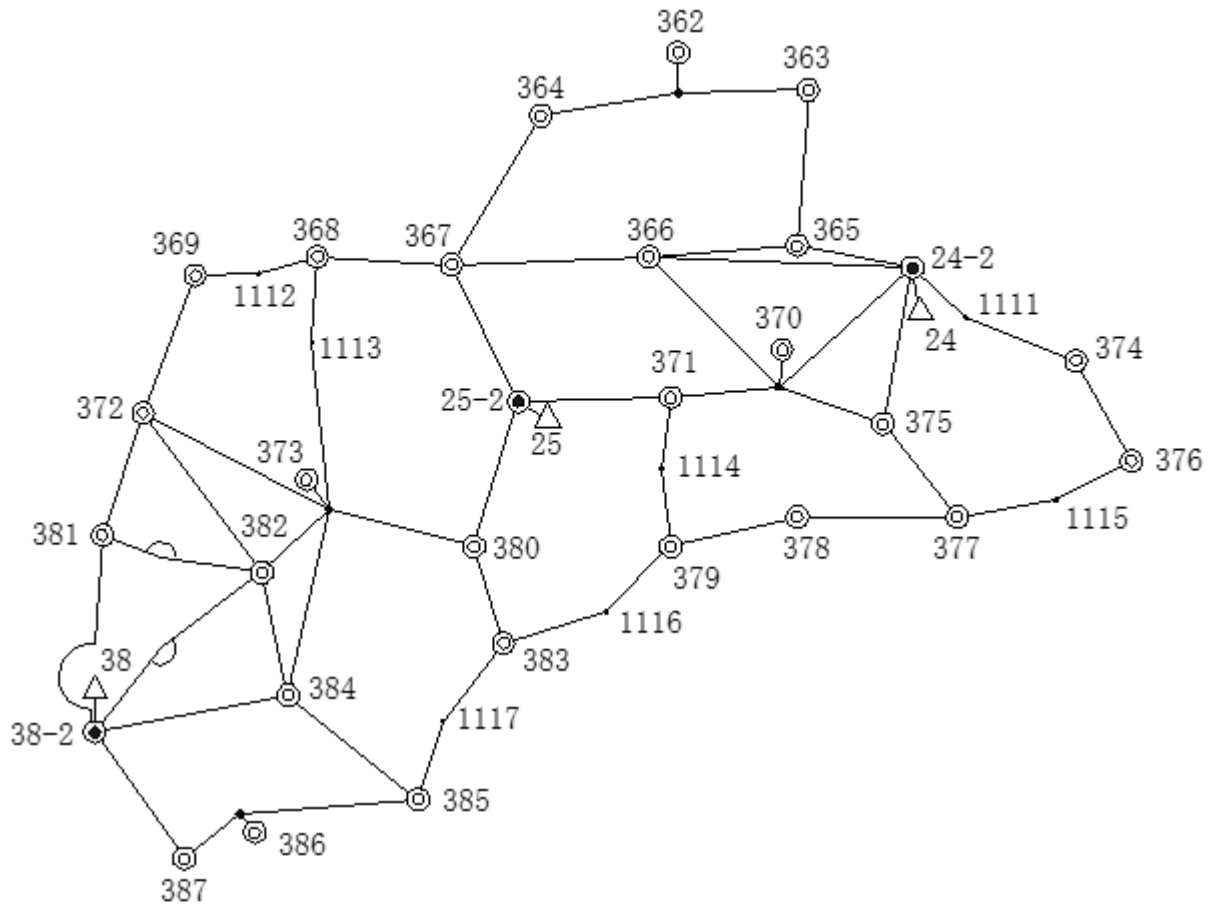
現 況 区 分 表

| 現況区分 | | 現 況 |
|------|------|---------------------------------------|
| 正 常 | 正 常 | 点の記により柱石及び盤石が異常でない判断される |
| 異 常 | 亡 失 | 柱石、盤石が無い。又は、盤石は有るが位置が測量成果の表示と異なる |
| | 不 明 | 柱石、盤石が発見できず亡失していることが確認できない |
| | 傾 斜 | 盤石は正常だが、柱石が傾斜又は横転し、修正・再設置が必要と思われる |
| | 要移転 | 柱石、盤石は正常だが将来にわたり保存の継続が見込めず、移転が必要と思われる |
| | 埋 没 | 柱石が地中に埋没し、高上又は保護策が必要と思われる |
| | 露 出 | 柱石が地上に著しく露出し、低下又は保護策が必要と思われる |
| | 柱石き損 | 盤石、球分は正常であるが柱石がき損しているため、交換・修理が必要と思われる |
| | 柱石亡失 | 盤石は正常であるが、柱石が亡失しているため、補充が必要と思われる |
| | 球分き損 | 柱石上の球分が、き損又は磨耗しており、補修又は再設置が必要と思われる |

(第39条関係、記載例)

横浜市公共一次基準点網、観測図 1:50,000

(○○○○地区)



(注) 1 点の記号等は、次の通りとする。

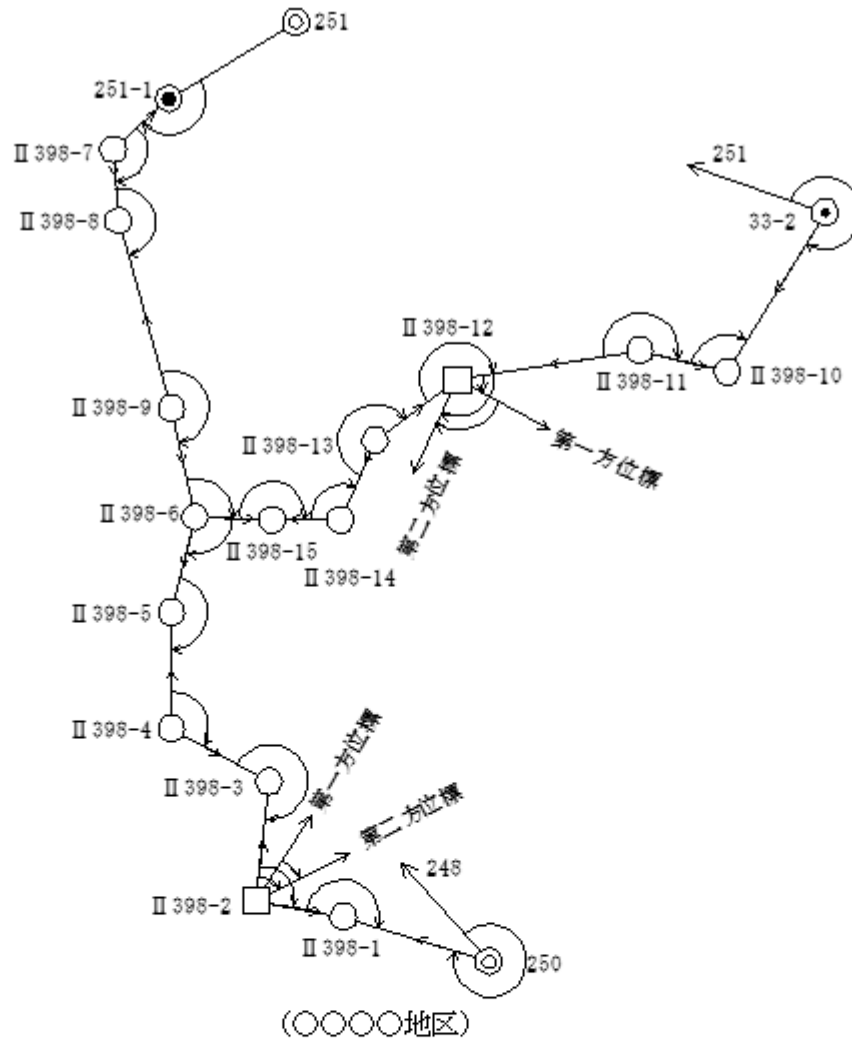
- △ ……一、二、三、四等三角点
- ◎ ……横浜市公共一次基準点・本点
- ……偏心点 (永久標識を設置したもの)
- ……偏心点 (永久標識を設置しないもの)
- ……節点

△ ……折れ基線

- 2 偏心点、折れ基線に伴う観測方向 (視通線) を、そのまま記入する。
- 3 適宜の白紙を用い 1/50,000~1/25,000 の縮尺で作成する。
- 4 補点関係の網図 (開放トラバース) は、付表として作成する。

(第39条関係、記載例)

横浜市公共二次基準点網、観測図 1:10,000



(注) 1 点の記号等は、次の通りとする。

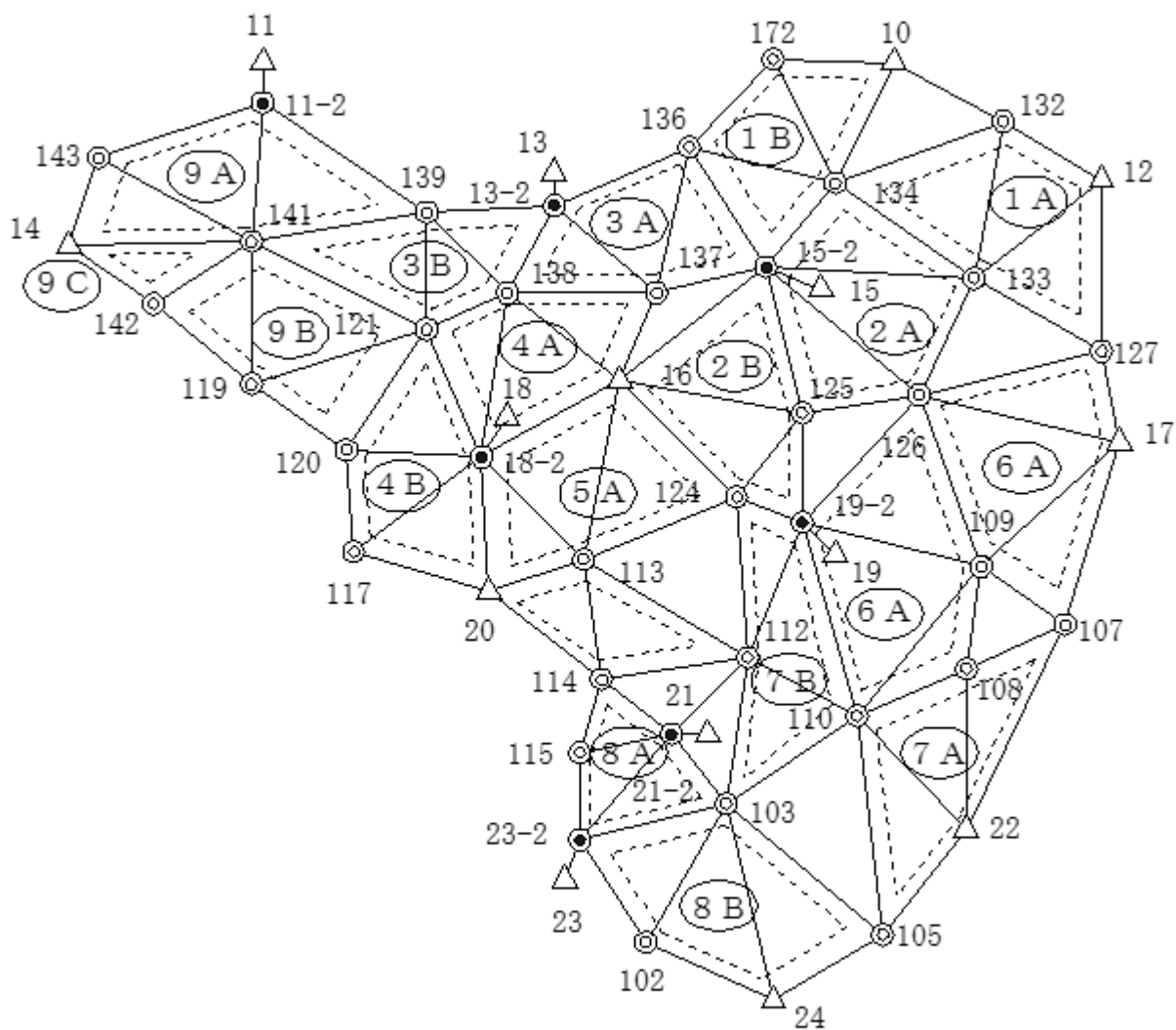
- △ ……一、二、三、四等三角点
- ◎ ……横浜市公共一次基準点・本点
- ……横浜市公共二次基準点・本点
- ……横浜市公共二次基準点・節点
- ……偏心点(永久標識を設置したもの)
- ……偏心点(永久標識を設置しないもの)

2 偏心点に伴う観測方向(視通線)を、そのまま記入する。

3 適宜の白紙を用い任意の縮尺で作成する。

横浜市公共一次基準点網、観測図 (GNSS)

(○○○○地区)



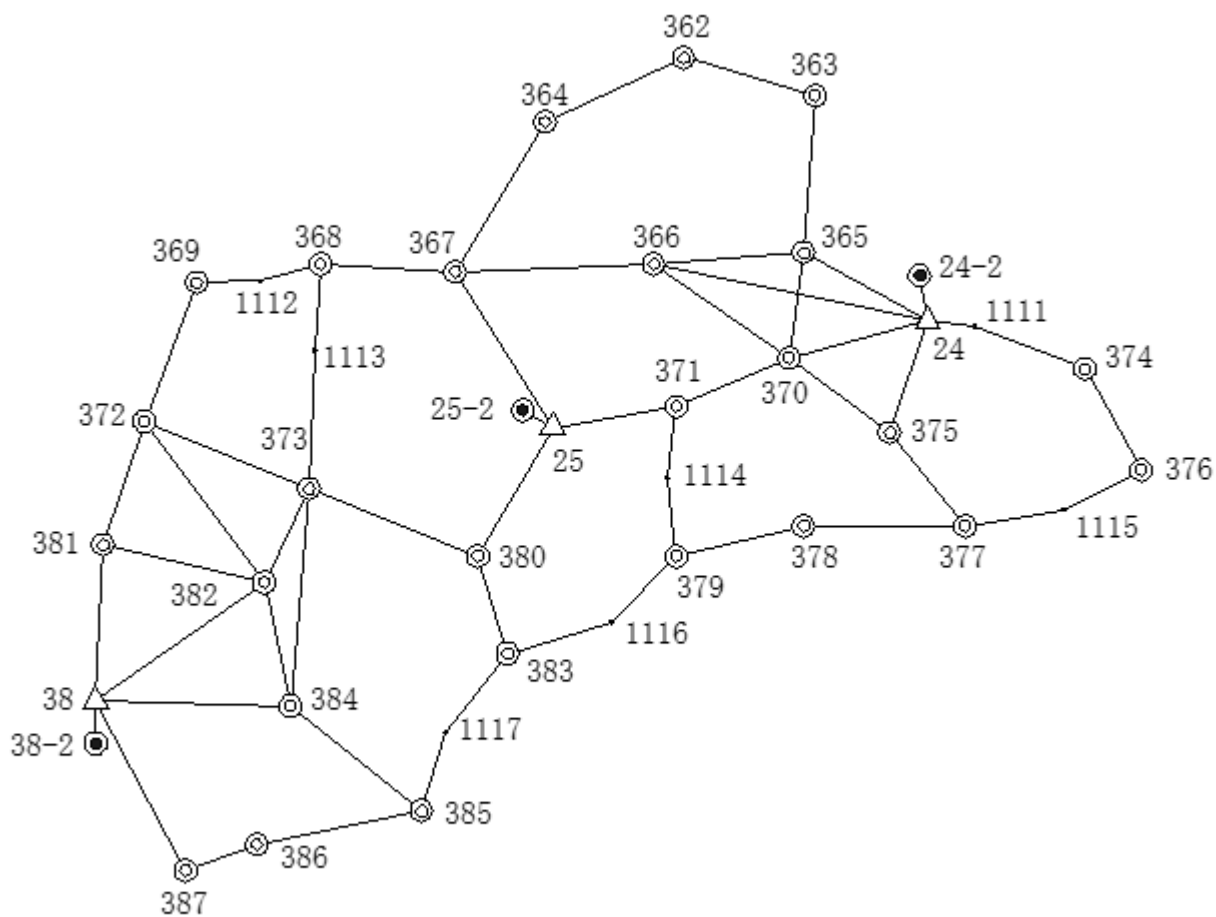
(○○○○地区)

(注) 1 点の記号等は、次の通りとする。

- ▲ ……電子基準点
- △ ……一、二、三、四等三角点
- ◎ ……横浜市公共一次基準点・本点
- ……偏心点 (永久標識を設置したもの)
- ……偏心点 (永久標識を設置しないもの)

- 2 偏心点に伴う観測方向 (視通線) を、そのまま記入する。
- 3 適宜の白紙を用い 1/25,000 の縮尺で作成する。

横浜市公共一次基準点網、平均図 1:50,000



(○○○○地区)

(注) 1 点の記号等は、次の通りとする。

- ▲ ……電子基準点
- △ ……一、二、三、四等三角点
- ◎ ……横浜市公共一次基準点・本点
- ……偏心点 (永久標識を設置したもの)
- ……偏心点 (永久標識を設置しないもの)

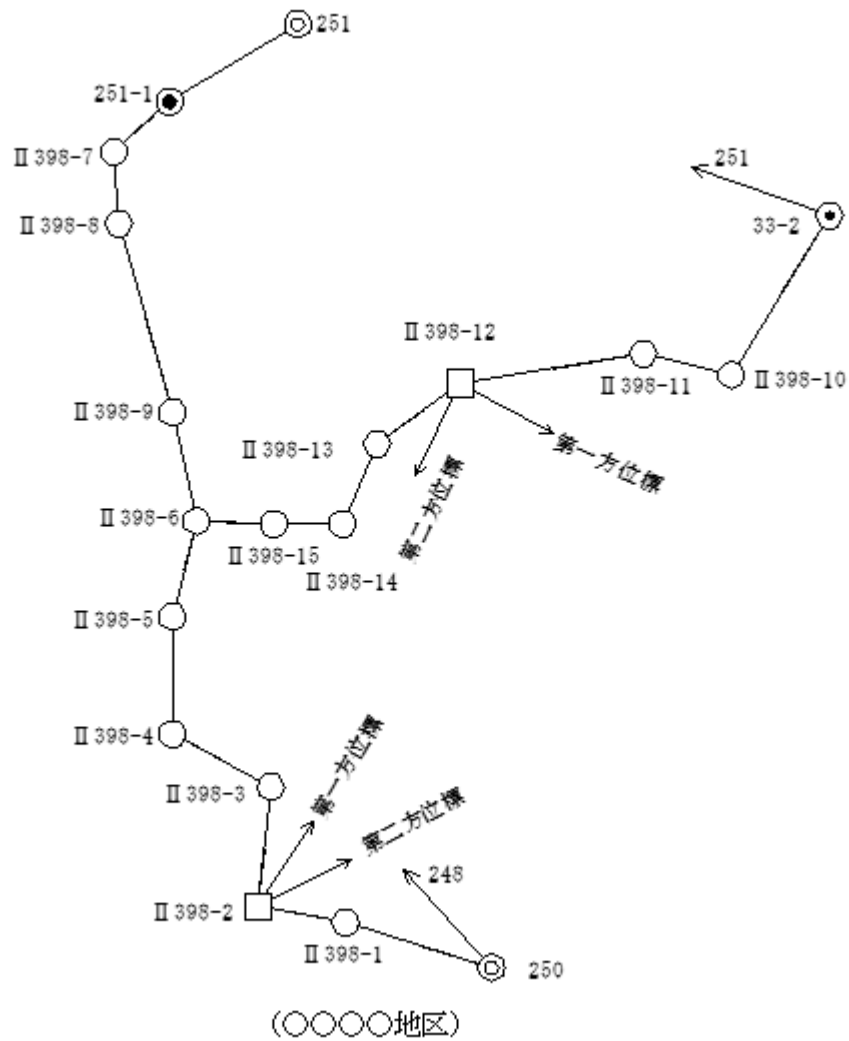
2 適宜の白紙を用い 1/25,000 の縮尺で作成する。

横浜市公共一次基準点網 平均図 附表

| 点の種類 | 番号 | 名称 | 設置の位置 | 標識の種類 | 補点 | | 屋上点 | | | 方位標 | | 補点設置のための折れ点 |
|-------|-----|--------|-------|-------|-------|----|------|----|----|-----|-----|-------------|
| | | | | | 番号 | 位置 | 番号 | 位置 | 種類 | 第1 | 第2 | |
| 二等三角点 | 〇〇 | 二等・〇〇〇 | 屋上 | 金属標 | | | | | | 避雷針 | 避雷針 | |
| 三等三角点 | 〇〇 | 三等・〇〇〇 | 地上 | 石標 | | | 〇〇-〇 | 屋上 | | 避雷針 | 避雷針 | |
| 新点 | 〇〇〇 | 〇〇 | 屋上 | 金属標 | 〇〇〇-〇 | 地下 | | | | 避雷針 | 避雷針 | |
| 〃 | 〇〇〇 | 〇〇〇小学校 | 屋上 | 金属標 | 〇〇〇-〇 | 地下 | | | | 避雷針 | 避雷針 | 〇〇〇〇〇〇 |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

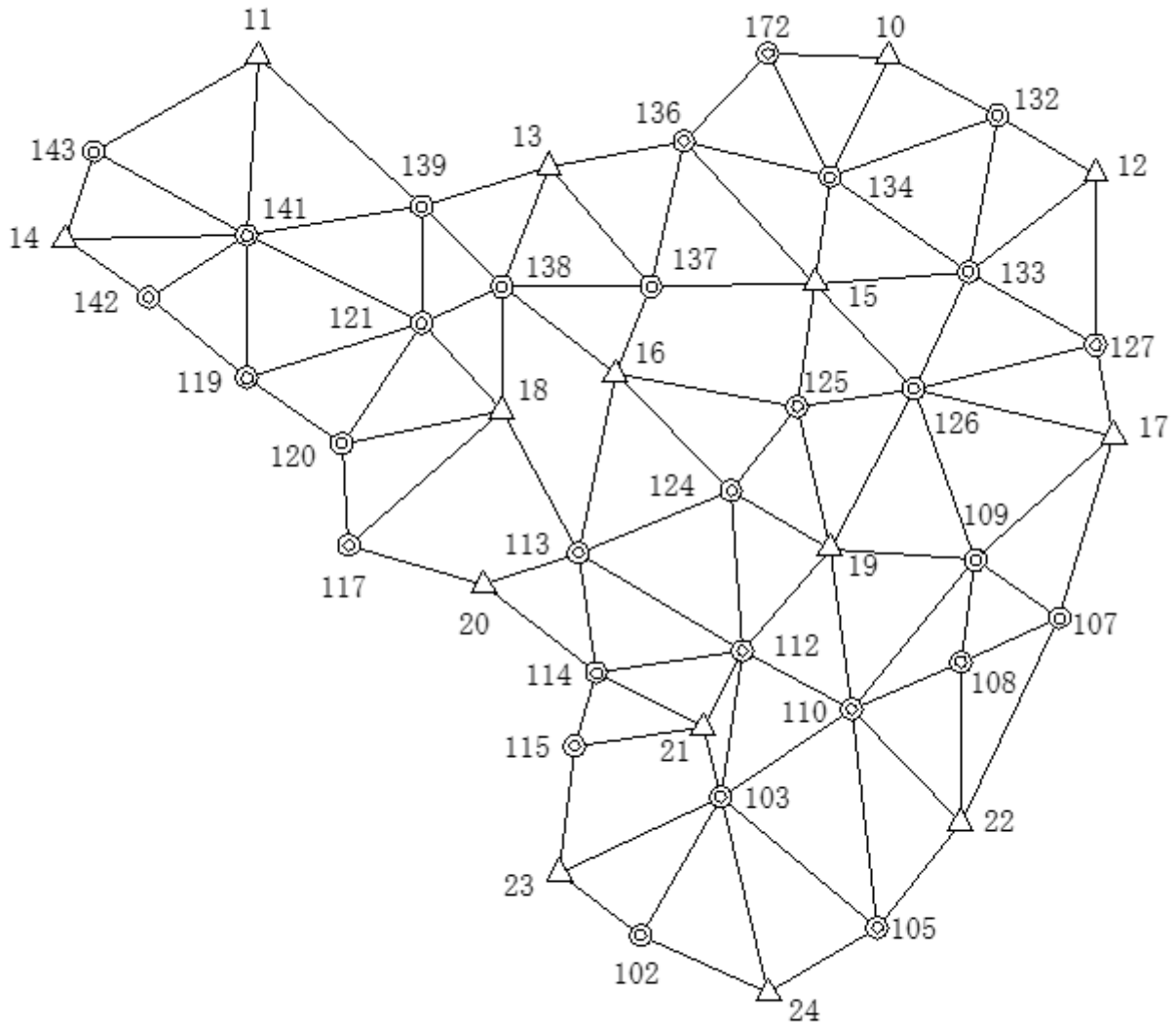
(第39条関係・記載例)

横浜市公共二次基準点網、平均図 1:10,000



- (注) 1 点の記号等は、次の通りとする。
- △ ……一、二、三、四等三角点
 - ◎ ……横浜市公共一次基準点・本点
 - ……偏心点（永久標識を設置したもの）
 - ……偏心点（永久標識を設置しないもの）
- 2 偏心点に伴う観測方向（視通線）を、そのまま記入する。
- 3 適宜の白紙を用い 1/25,000 の縮尺で作成する。

横浜市公共一次基準点網、平均図 (GNSS)



(○○○○地区)

(注) 1 点の記号等は、次の通りとする。

- △電子基準点
- △一、二、三、四等三角点
- ◎横浜市公共一次基準点・本点
-偏心点 (永久標識を設置したもの)
-偏心点 (永久標識を設置しないもの)

2 適宜の白紙を用い 1/25,000 の縮尺で作成する。

横浜市公共一次基準点網図 (〇〇〇〇地区)

平均図、付図-1

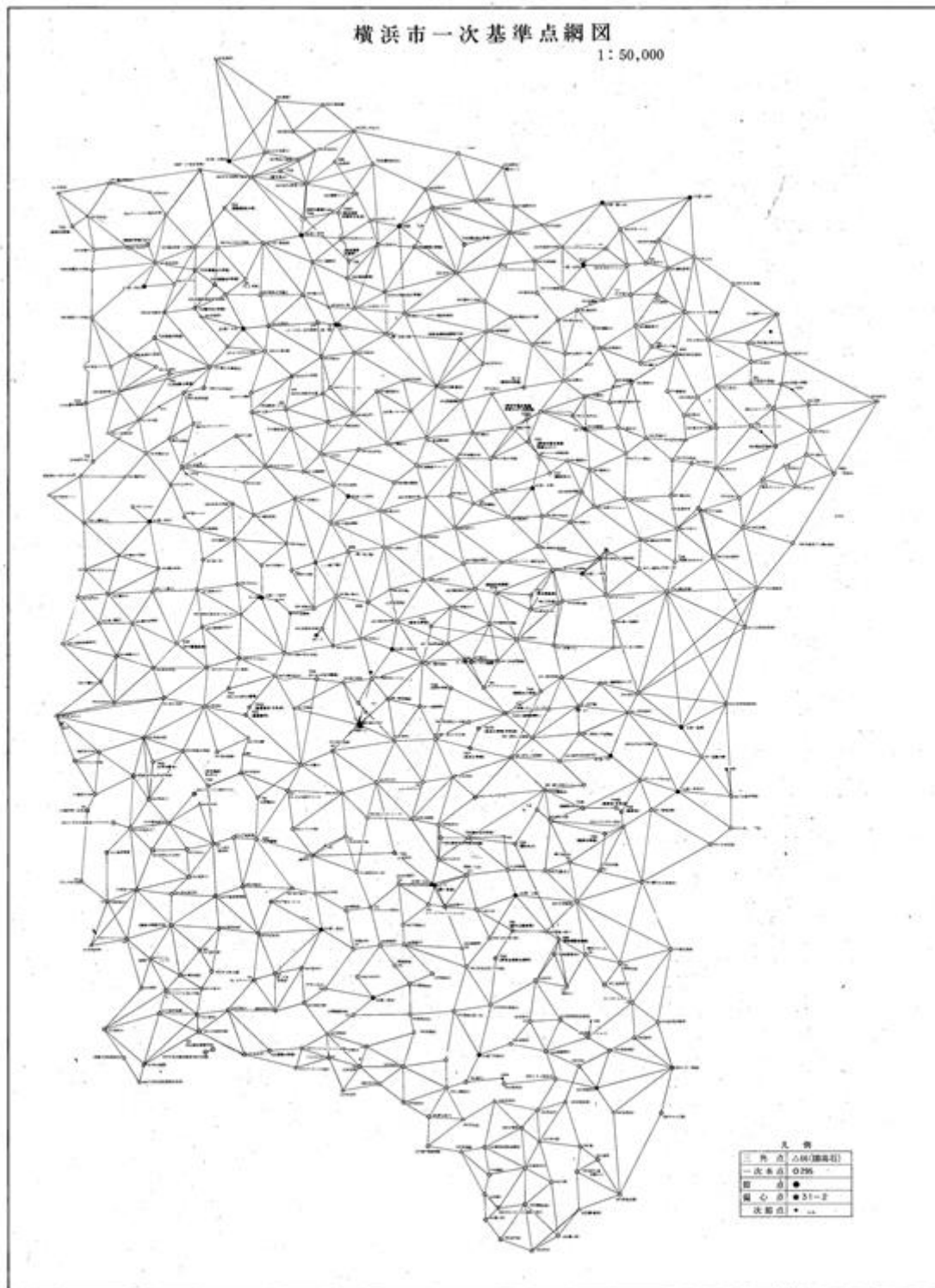


横浜市公共一次基準点網図 (〇〇〇〇地区)

平均図、付図-2



(第39条関係)

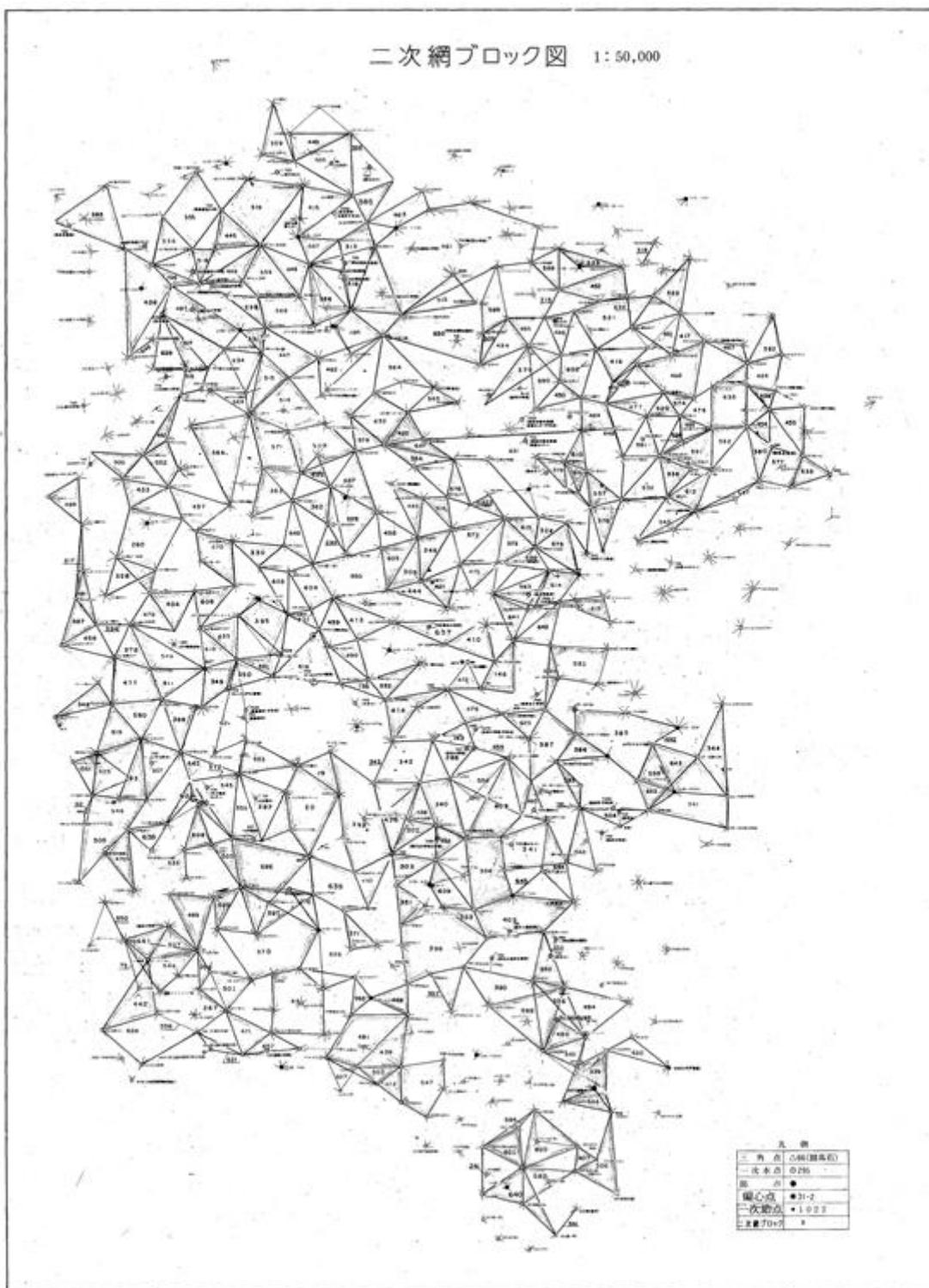


(第39条関係)

横浜市公共基準点網図 (〇〇〇〇地区) 1/5,000



二次網ブロック図 1:50,000



平成20年12月 測量
平成20年12月 測量
平成20年12月 測量

(第41条関係、記載例を含む)

横浜市一次基準点 点の記

| | | | |
|-------|---|--------|------------------|
| 点 名 | 〇〇〇(〇〇〇横浜) | メッシュ番号 | (〇〇) LD〇〇-〇-〇〇 |
| 所 在 地 | 緑区〇〇町〇〇〇-〇 | 地 目 | 宅地 |
| 所 有 者 | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇 TEL000(000)0000 | | |
| 管 理 者 | 株式会社 〇〇〇〇 TEL000(000)0000 | | |
| 測標の種類 | 標石・ <u>金属標</u> | 設置位置 | 地下・地上・ <u>屋上</u> |
| 選点年月日 | 令和〇〇年〇〇月〇〇日 | 選 点 者 | 〇〇〇〇株式会社 |
| 設置年月日 | 令和〇〇年〇〇月〇〇日 | 設 置 者 | 〇〇〇〇株式会社 |
| 観測年月日 | 令和〇〇年〇〇月〇〇日 | 観 測 者 | 〇〇〇〇株式会社 |
| 備 考 | アンテナ高：〇.〇〇〇m | | |
| 案内 | <p>The diagram illustrates the antenna setup on a building roof. A box labeled 'ANTA' contains a circle representing the antenna. A larger box labeled '吹き抜け' (blow-out) represents the building structure. A right-angled triangle is formed with the antenna at one vertex, a point on the building edge at another, and the antenna base at the third. The side lengths are 1.05m (between antenna and building edge), 1.44m (between antenna and antenna base), and 2.80m (between building edge and antenna base). A utility pole is shown to the right of the building.</p> | | |

注：GNSS を使用した場合は備考欄に「GNSS による基準点測量」と明記すること。

一次本点、補点、偏心点、二次本点の写真

(付近の建造物等との位置関係が、明らかになるように撮影する。)



方位標の写真



注：用紙はA4版とし、現況写真を貼付するものとする。

(第41条関係、記載例を含む)

横浜市公共二次基準点 点の記

点 の 記

| 線番号 | 点番号 | 標識の種類 | 所在地 | 線番号 | 点番号 | 標識の種類 | 所在地 |
|------|-----|----------|--------------|-----|-----|----------|-----|
| E432 | 14 | 金属標。新。木杭 | 西区〇〇町二四ノ一番地先 | | | 金属標。新。木杭 | |
| 要 図 | キザミ | | | 要 図 | キザミ | | |
| | | | | | | | |

| 線番号 | 点番号 | 標識の種類 | 所在地 | 線番号 | 点番号 | 標識の種類 | 所在地 |
|-----|-----|----------|-----|-----|-----|----------|-----|
| | | 金属標。新。木杭 | | | | 金属標。新。木杭 | |
| 要 図 | キザミ | | | 要 図 | キザミ | | |
| | | | | | | | |

横浜市道路局

注：GNSS を使用した場合は欄外に「GNSS による基準点測量」とアンテナ高を明記すること。

(第41条関係、記載例を含む)

1級多角点の記

点 の 記

| 線番号 | 点番号 | 標識の種類 | 所在地 | 線番号 | 点番号 | 標識の種類 | 所在地 |
|--------|-----|----------|---------------|--------|-----|----------|---------------|
| A-1123 | 1 | 金属標(紙)木杭 | 戸塚区〇〇町一八四五番地先 | A-1123 | 2 | 金属標(紙)木杭 | 戸塚区〇〇町一八四三番地先 |
| 要 図 | | キザミ | | 要 図 | | キザミ | |
| | | | | | | | |

| 線番号 | 点番号 | 標識の種類 | 所在地 | 線番号 | 点番号 | 標識の種類 | 所在地 |
|--------|-----|----------|--------------|--------|-----|----------|----------------|
| A-1123 | 3 | 金属標(紙)木杭 | 戸塚区〇〇町六五八番地先 | A-1123 | 4 | 金属標(紙)木杭 | 戸塚区〇〇町七〇三一三番地先 |
| 要 図 | | キザミ | | 要 図 | | キザミ | |
| | | | | | | | |



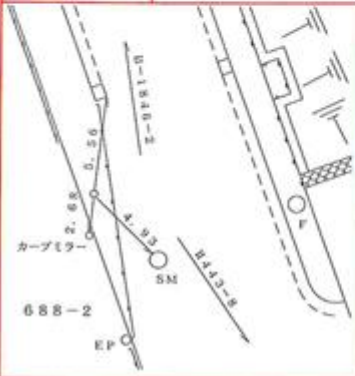
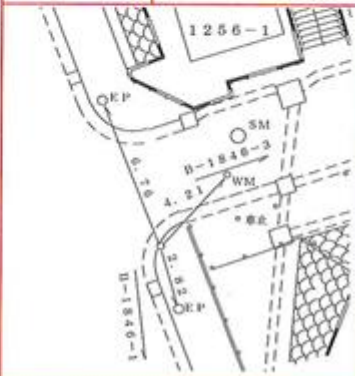



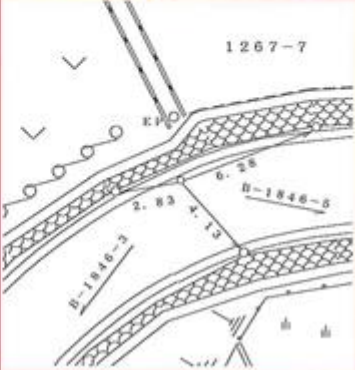
横浜市道路局

注：GNSS を使用した場合は欄外に「GNSS による基準点測量」とアンテナ高を明記すること。

(第41条関係、記載例を含む)

2級多角点の記

点 の 記

| 線番号 | 点番号 | 標識の種類 | 所在地 | 線番号 | 点番号 | 標識の種類 | 所在地 |
|--------|-----|--|--------------------|--------|-----|--|----------------------------------|
| B-1846 | 1 | 金属標・  木杭 キザミ | 泉区 〇〇町六八八、二番地先 | B-1846 | 2 | 金属標・  木杭 キザミ | 泉区 〇〇町一二五六、一番地先 |
| 要図 | |  | | 要図 | |  | |
| B-1846 | 3 | 金属標・  木杭 キザミ | 泉区 〇〇町一二六三、一番地先 | B-1846 | 4 | 金属標・  木杭 キザミ | 泉区 〇〇町一二六七、七番地先 横浜市道路局 |
| 要図 | |  | | 要図 | |  | |

注：GNSS を使用した場合は欄外に「GNSS による基準点測量」とアンテナ高を明記すること。

(第42条関係・記載例を含む)

| 建 標 承 諾 書 | | | | | |
|---|-----|------------|-------|-----------|-----------|
| 令和〇〇年〇〇月〇〇日 | | | | | |
| 計 画 機 関 の 長 殿 | | | | | |
| 所 有 者 住 所 横 浜 市 〇 〇 区 〇 〇 町 〇 〇 - 〇 管 理 者 氏 名 〇 〇 〇 〇 〇 | | | | | |
| 公 共 基 準 点 | 番 号 | 名 称 | | | 標 識 番 号 |
| | 〇〇〇 | (〇〇〇マンション) | | | No.0-0000 |
| 所 在 地 | 市 | 区 | 町 | 番 地 | 地 目 |
| | 横 浜 | 〇 〇 | 〇 〇 〇 | 〇 - 〇 - 〇 | 宅 地 |
| <p>上記〇〇〇〇 所有 〇〇〇マンション屋上に横浜市公共基準点の標識を設置 することを承諾する。</p> | | | | | |

- 注 1. この標識は〇〇〇で設置したもので、各種測量の基準となる重要な標識のため、動かしたり、破損したりしないよう注意を願います。
2. 不要の文字は、抹消すること。(所有者と管理者の文字の何れか一方は、必ず抹消する。)

(第42条関係・記載例を含む)

(官公有地用)

測量標敷地調書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

横浜市長 様

〇〇〇〇株式会社 印

測量標の所在地及び土地の所轄については、次のとおり相違ありません。

| 公共基準点 | | 所在地 | 地目 | 位置 | 所轄機関名 | 管理者 |
|-------|--------|----------|------|----|----------|----------|
| 番号 | 名称 | | | | | |
| 〇〇〇 | 〇〇〇小学校 | 〇区〇〇〇〇〇〇 | 学校用地 | 屋上 | 横浜市教育委員会 | 〇〇〇小学校長 |
| 〇〇〇 | 〇〇団地 | 〇区〇〇〇〇〇〇 | 宅地 | 屋上 | 神奈川県 | 〇〇〇〇管理課長 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

(備考) 管理者の承諾を裏面に添付すること。 〇〇株式会社 〇〇 〇〇

測量標敷地調書及び建標承諾書記載上の注意

- 1 原則として、建標承諾書は所有者より徴収するものとする。ただし、直接所有者より徴収するのが困難な場合は、所有者を明示の上、その管理者より徴収することができる。
- 2 用紙の右下欄外に作業機関の測量係が署名する。(認印を押印することにより署名に変えることができる。)
- 3 敷地調書及び建標承諾書は、おおむね選点番号の若い順に綴るものとする。
- 4 地目については、不動産登記法施行令(昭和35年8月5日政令第228号)第3条、不動産登記事務取扱手続準則(昭和52年9月3日民三第四四七三号通達)第117条及び第118条による。

(第13条、第57条、第58条、第63条、第76条、第77条、第80条関係、記載例を含む)

○次基準点測量

横浜市○○地区

精度管理簿

測量計画機関

横浜市道路局

測量作業機関

○○○株式会社

横浜市公共一次基準点測量精度管理表

| | | | | | | | |
|-----------------------------------|-----------------|-------------------------------|-------------------|----------------|----------------|-----------------|-----------------|
| 作業名称 横浜市の基準点 管理精度管理作業 (その①) | 地区名 横浜市の〇〇地区 | 計測機関名 令和〇年〇月〇日 令和〇年〇月〇日 | 標高記号 一次基準点開設作業 | 作業者 一次水準 1点 | 作成者 〇〇 〇〇 印 | 株式会社 〇〇 〇〇 印 | 作業部長 〇〇 〇〇 印 |
|-----------------------------------|-----------------|-------------------------------|-------------------|----------------|----------------|-----------------|-----------------|

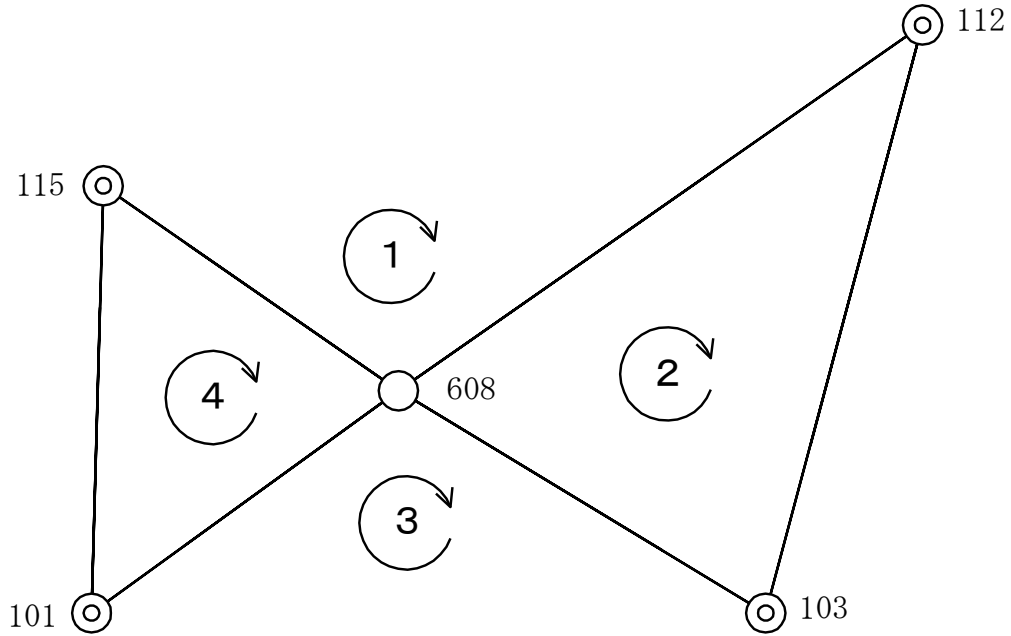
| 点検計算 (三辺方式) | | | | 備考 | 備心 | 不印数 |
|-------------|-------|--------|--------|---------------|-----|------|
| 中心角 (°) | | 標高 (m) | | | | |
| 観点数 | 閉合差 | 許容範囲 | 閉合差 | 許容範囲 | 閉合差 | 許容範囲 |
| 608 | -3 | 14 | -0.011 | 0.060 | | T=0 |
| | | | 0.012 | 0.060 | | S=0 |
| | | | 0.011 | 0.050 | | V=0 |
| | | | 0.021 | 0.040 | | |
| | | | | 新点位置の標準偏差 (m) | | |
| 点番号 | 水平 | 許容範囲 | 標高 | 許容範囲 | 標高 | 許容範囲 |
| 608 | 0.028 | 0.10 | 0.004 | 0.20 | | |

| 観点番号 | 距離 | | 水平角 | | 鉛直角 | |
|---------|----------|----------|-----------|-----------|----------|----------|
| | 点検値 | 採用値 | 点検値 | 採用値 | 点検値 | 採用値 |
| 608-103 | 770.872 | 770.870 | 0 0 0 | 0 0 0 | -1 41 42 | -1 41 38 |
| 608-101 | 433.813 | 433.812 | 145 13 51 | 145 13 49 | +5 14 10 | +5 14 11 |
| 608-115 | 535.154 | 535.115 | 0 0 0 | 0 0 0 | +0 26 44 | +0 26 44 |
| 608-112 | 1308.886 | 1308.884 | 78 18 30 | 78 18 31 | -1 03 10 | -0 33 7 |

| | |
|----------------------------------|----|
| 工業機器名称番号 トヨタ-757 〇〇〇 No.〇〇〇〇〇 | |
| 知設計 アネロイド、測量計 標尺水準 | |
| 永久標識の補測等 | |
| 種別 | 数量 |
| 金属部 | 1 |
| 地上 | |
| 特記事項 | |

観測値の点検計算結果

再設点 608 (〇〇〇〇湘南八景)



距離の残差

| | |
|-----------|-----------------|
| 112 - 608 | 1.3K+7mm (10mm) |
| 103 - 608 | 0.8K+5mm (9mm) |
| 101 - 608 | 0.4K+7mm (9mm) |
| 115 - 608 | 0.5K+4mm (9mm) |

標高の点検

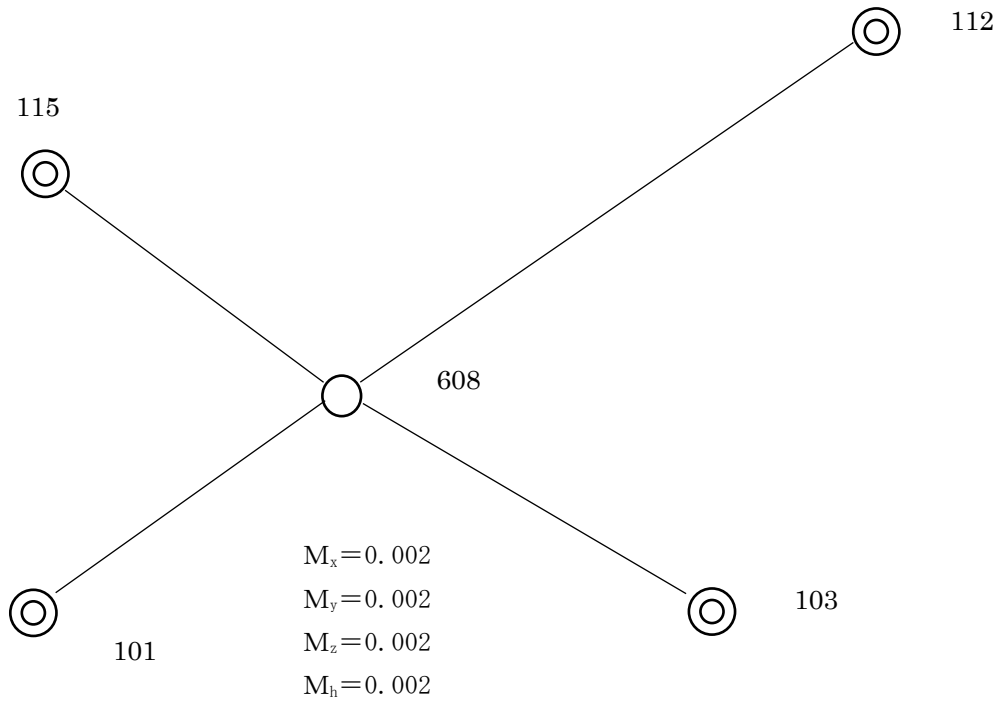
| | dh |
|-----------------|-----------------|
| 115 - 608 - 112 | -0.011 (±0.060) |
| 112 - 608 - 103 | +0.012 (±0.060) |
| 103 - 608 - 101 | +0.011 (±0.050) |
| 101 - 608 - 115 | +0.021 (±0.040) |

中心角の点検

608 -3" (±14")

厳密網平均計算結果

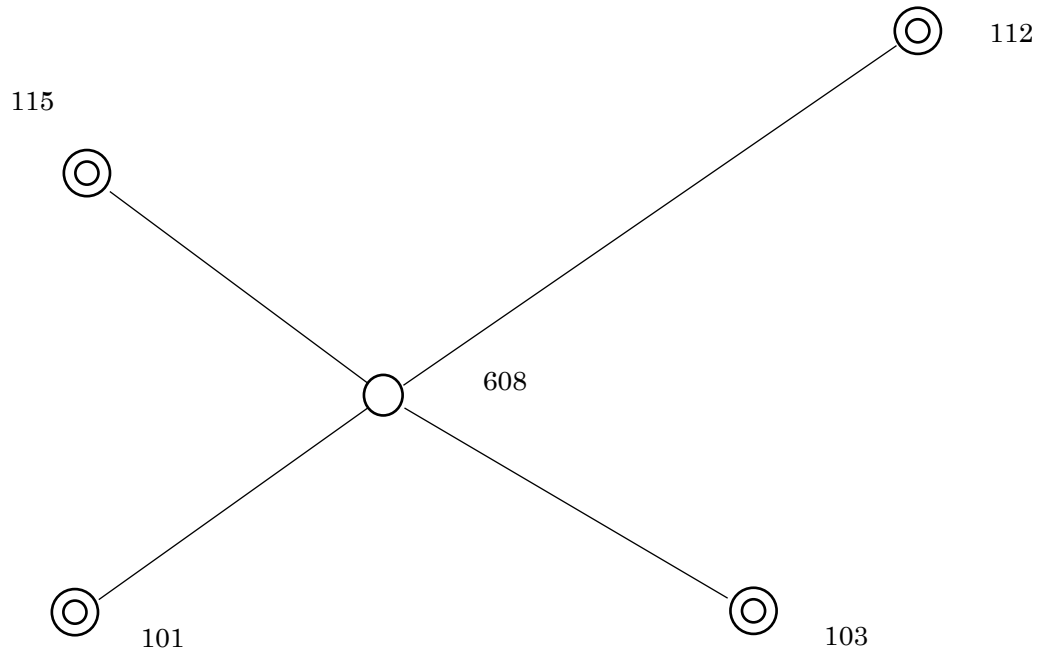
再設点 608 (〇〇〇〇湘南八景)



単位重量の標準偏差 $M=1'' .32$
高低角の標準偏差 $M_{(\omega)}=2'' .70$

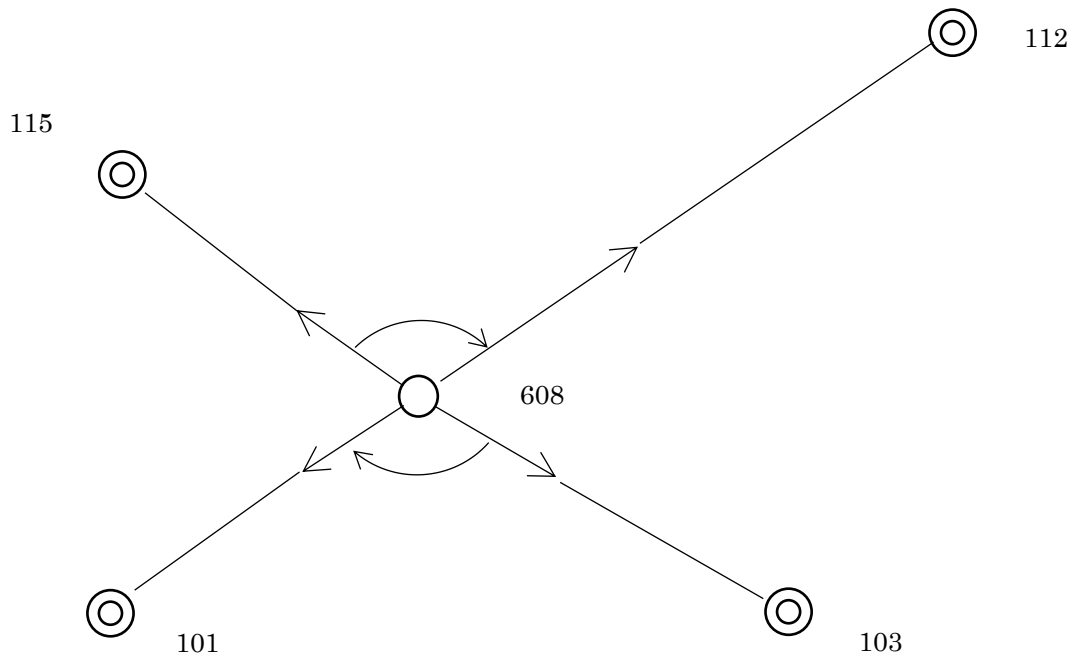
令和〇年度 横浜市〇〇地区
一次基準点測量 平均図

再設点 608 (〇〇〇〇湘南八景)
縮尺 (A3、又はA4に収まる任意の縮尺)



令和〇年度 横浜市〇〇地区
一次基準点測量 観測図

再設点 608 (〇〇〇〇湘南八景)
縮尺 (A3、又はA4に収まる任意の縮尺)

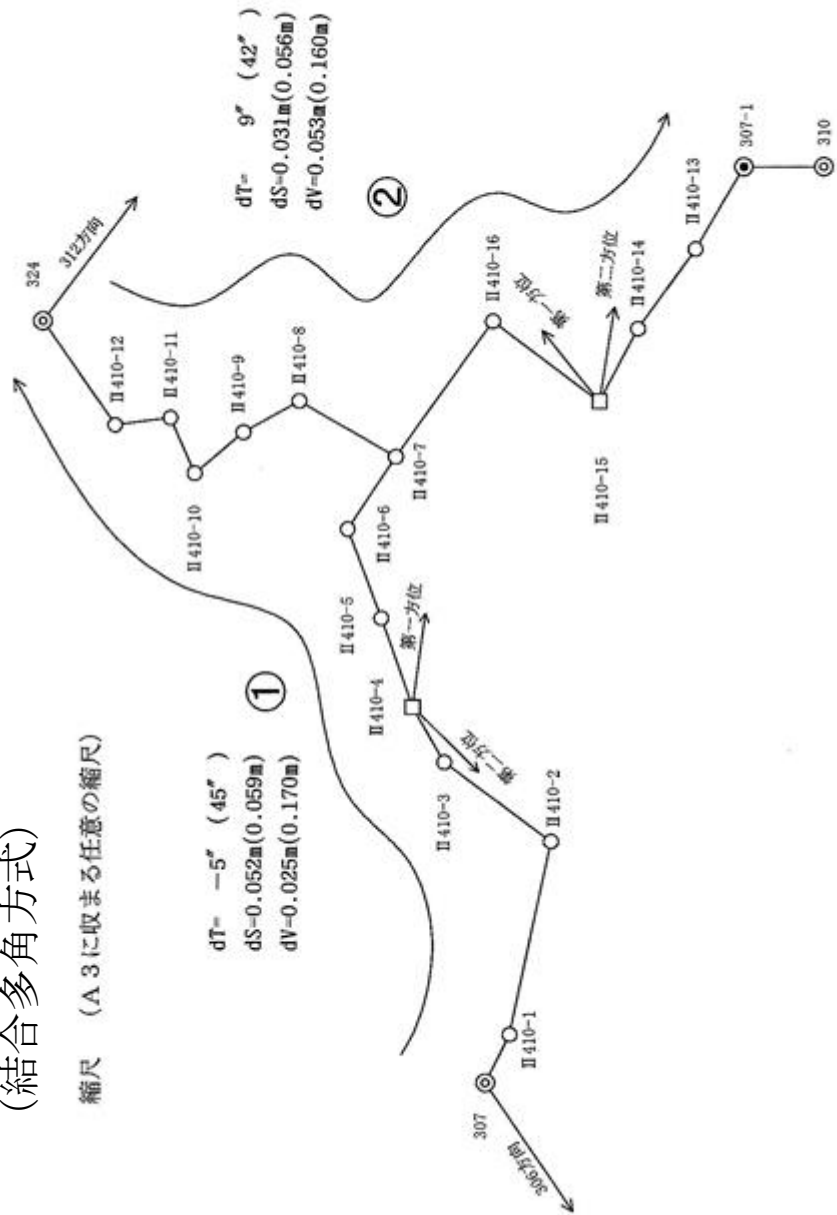


観測値の点検計算結果

(結合多角方式)

縮尺 (A 3 に収まる任意の縮尺)

II 410ブロック

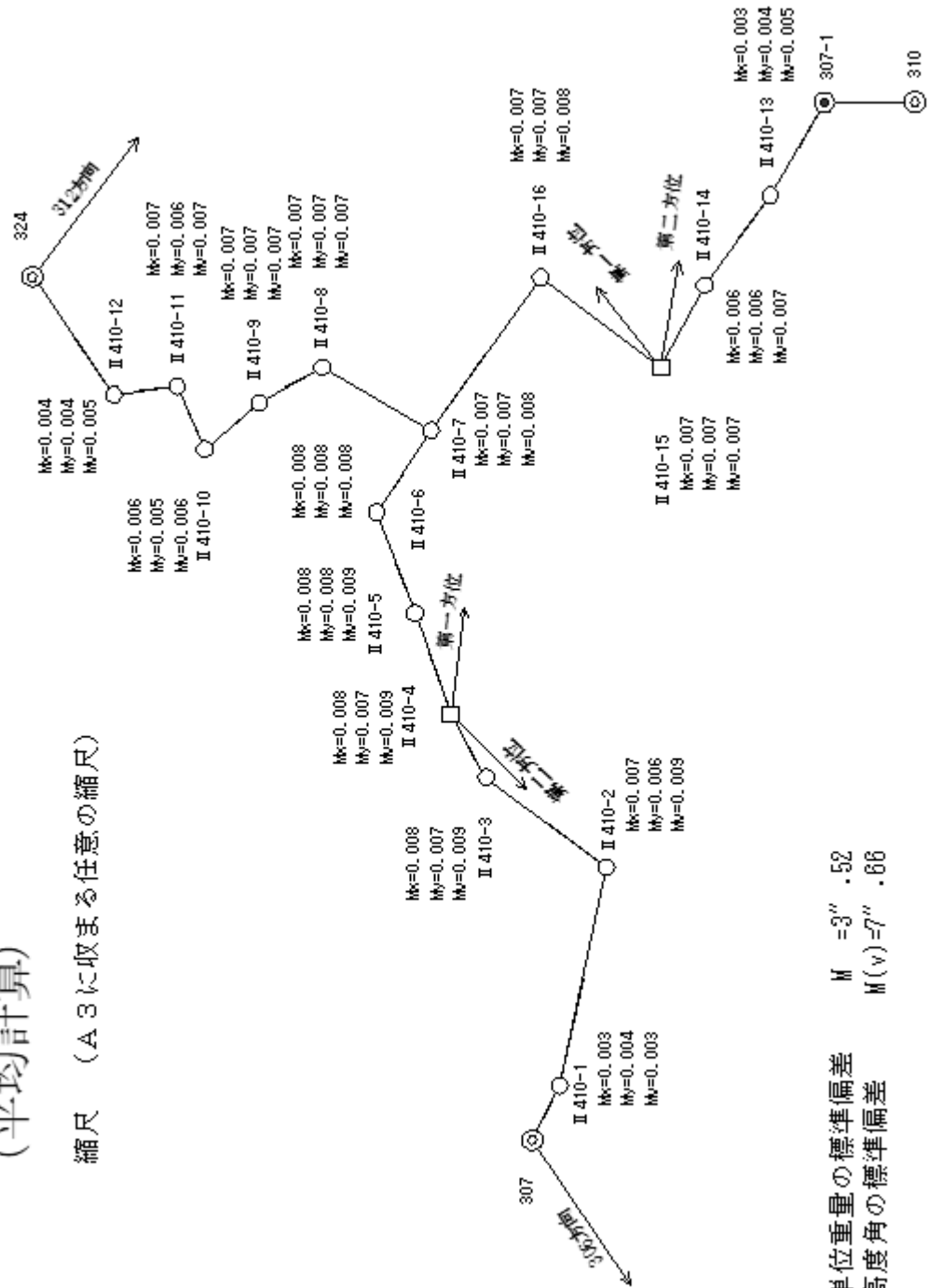


厳密網平均計算結果

II 410ブロック

(平均計算)

縮尺 (A 3 に収まる任意の縮尺)



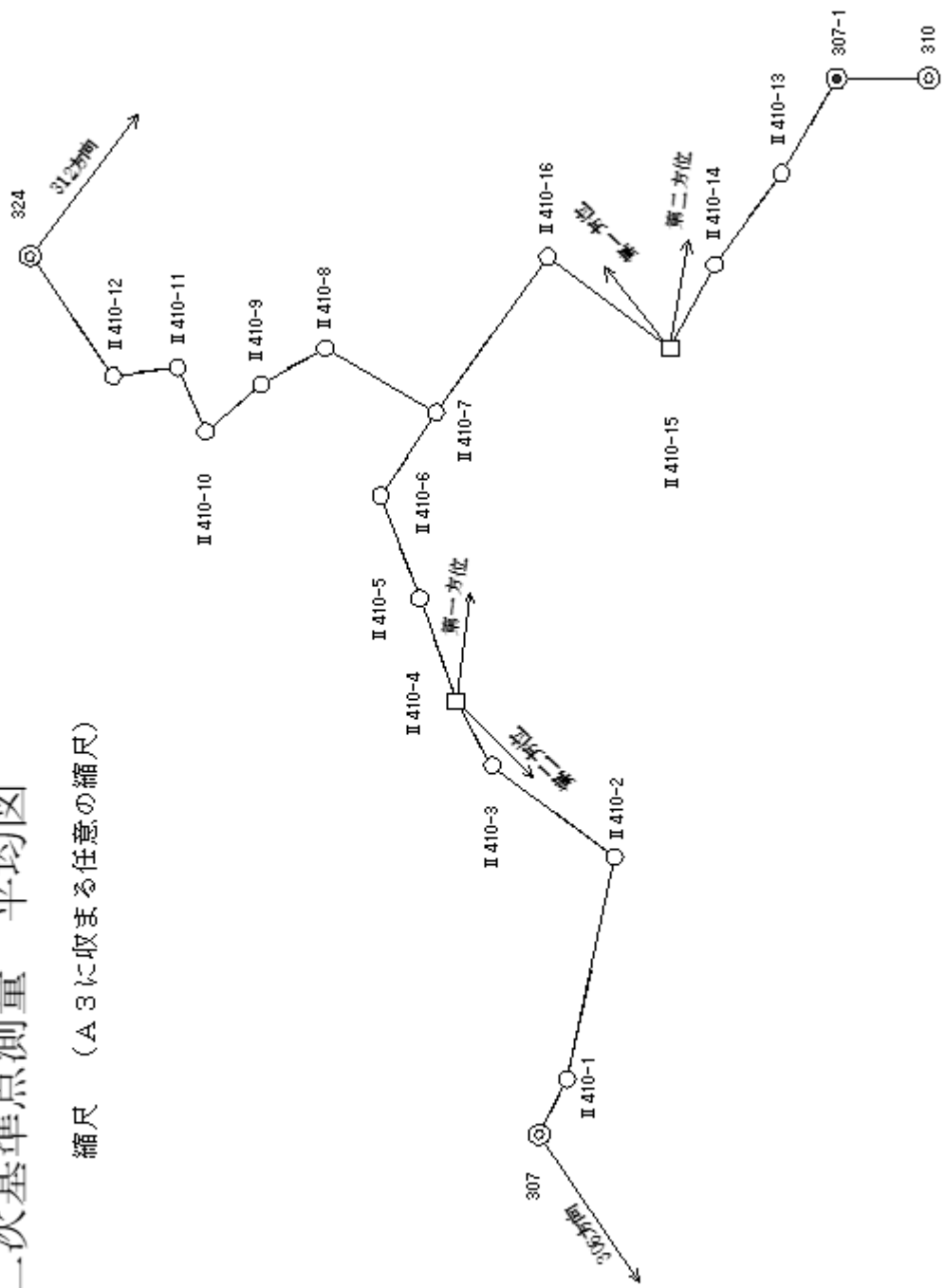
単位重量の標準偏差 M = 3" .52
 高度角の標準偏差 M(v) = 7" .66

令和〇年度 横浜市〇〇地区

二次基準点測量 平均図

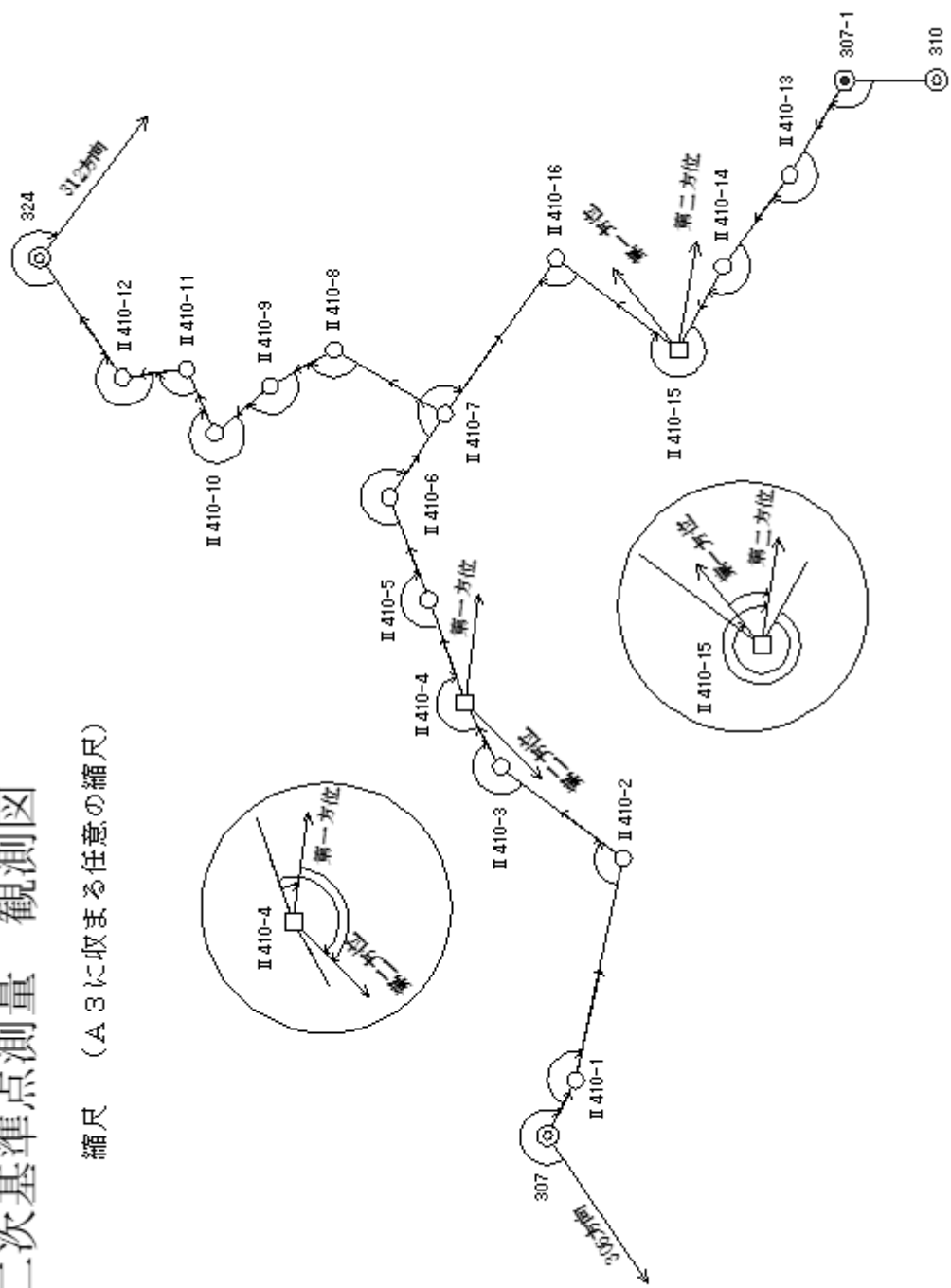
縮尺 (A3に収まる任意の縮尺)

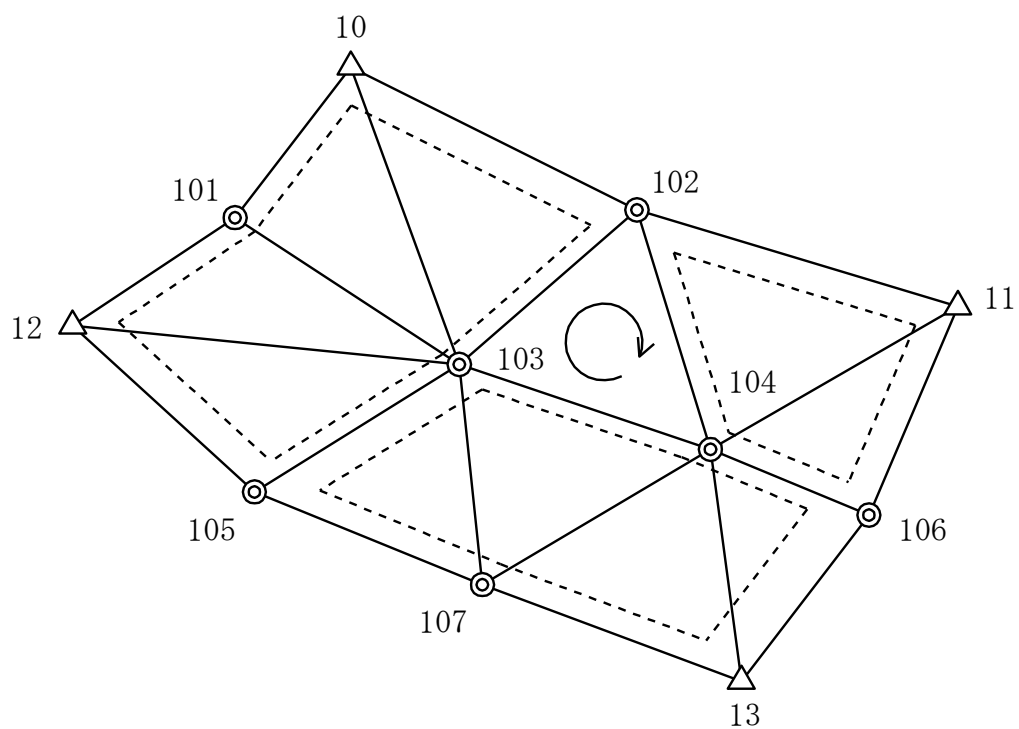
II 410ブロック



二次基準点測量 観測図

縮尺 (A3に収まる任意の縮尺)





重複基線ベクトルの各成分の較差

No.103~No.105

DX=0.007(0.020)

DY=0.010(0.020)

DZ=0.005(0.020)

No.104~No.106

DX=0.002(0.020)

DY=0.009(0.020)

DZ=0.012(0.020)

基線ベクトルの各成分の閉合差

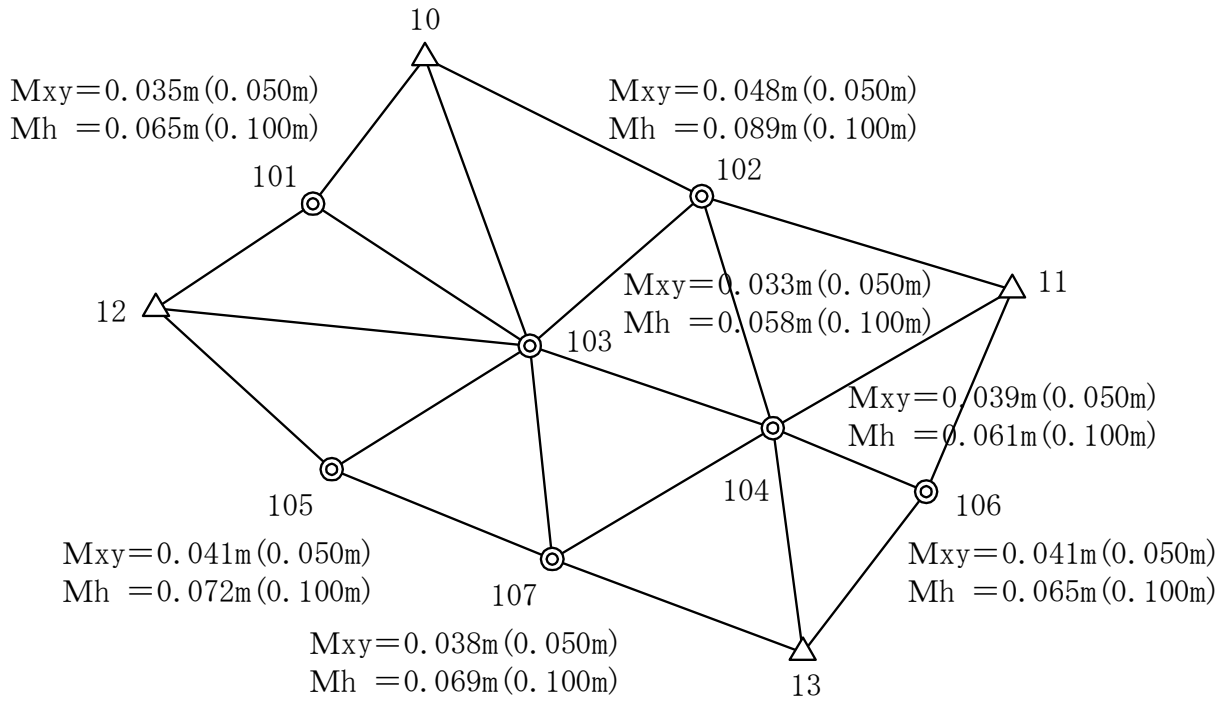
No.102~No.104~No.103~No.102

DX=-0.003(0.043)

DY= 0.002(0.043)

DZ=-0.006(0.043)

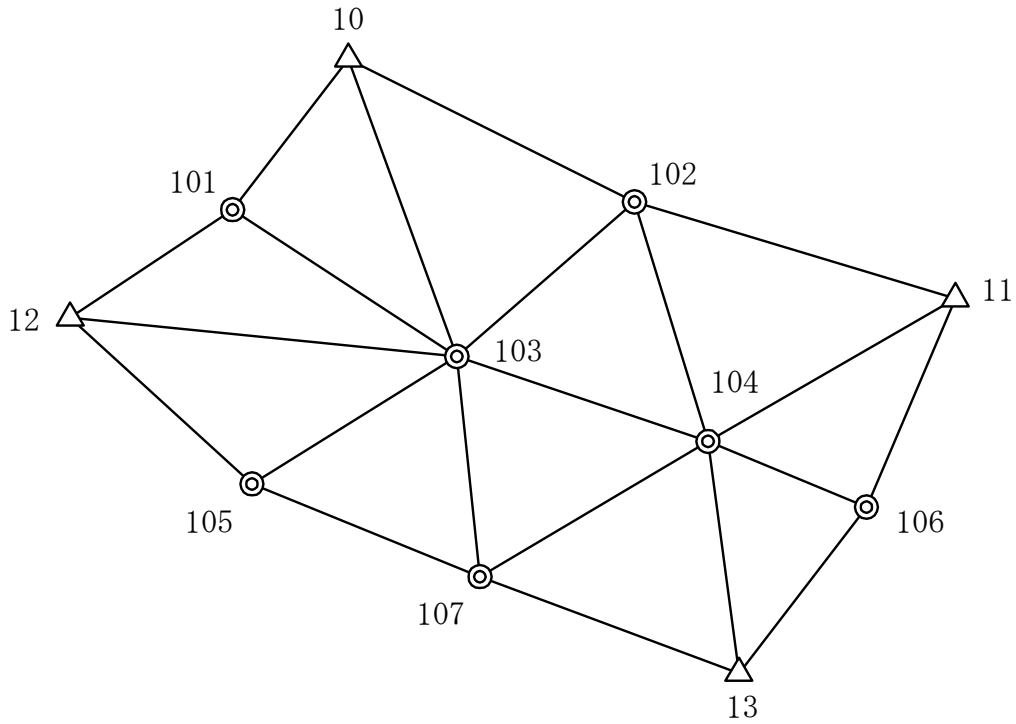
嚴密網平均計算結果



令和〇年度 横浜市〇〇地区

一次基準点測量 平均図 (GNSS)

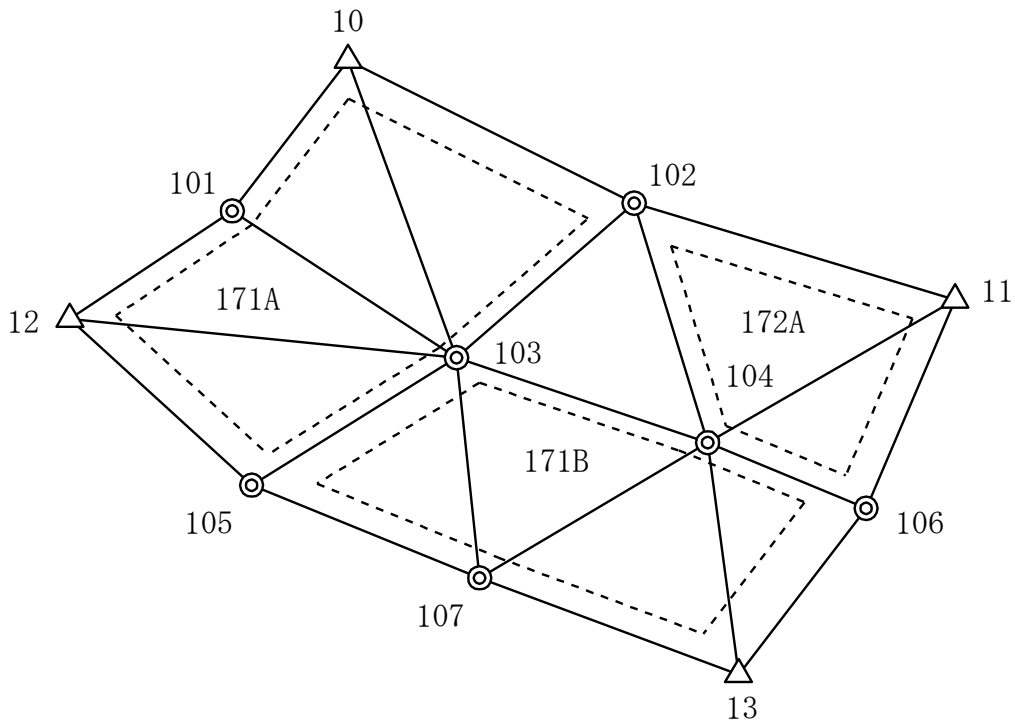
縮尺 (A3、又はA4に収まる任意の縮尺)



令和〇年度 横浜市〇〇地区

一次基準点測量 観測図 (GNSS)

縮尺 (A3、又はA4に収まる任意の縮尺)




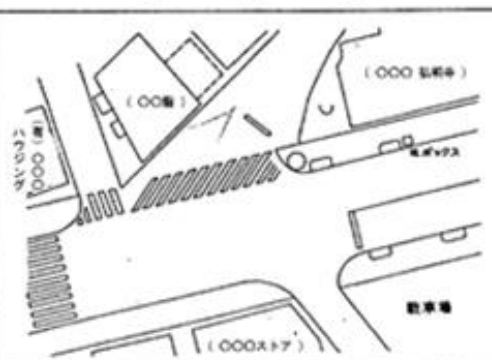



(第60条関係、記載例を含む)

横浜市公共一次基準点(補点等)成果表

横浜市公共基準点(補点)観測結果・点の記

世界測地系
(測地成果2011)
ジオイド・モデル
日本のジオイド0000Ver.0.0

| | | | |
|---|--|--|--|
| 点名 | 000-1 (000ハイツ) | | |
| 所在地 | 南区〇〇1丁目217-1番地先 | | |
| 設置年月 | 令和15年1月観測(旧点名265-1) | | |
| 備考 | GNSS測量による X= -63 750.925 Y= -21 933.378 H= 15.821 ジオイド高: 36.522 m 縮尺係数=0.999906 | | |
| 視準点の名称 | 方向角 | 距離 | |
| 679 | 146 24 21 | 182.251 | $\beta 1 = 96 \text{ } 57 \text{ } 15$ $\beta 2 = 225 \text{ } 14 \text{ } 14$ $\beta 3 = 301 \text{ } 54 \text{ } 11$ $\beta 2 - \beta 1 = 128 \text{ } 16 \text{ } 59$ $\beta 3 - \beta 2 = 76 \text{ } 39 \text{ } 57$ $\beta 3 - \beta 1 = 204 \text{ } 56 \text{ } 56$ |
| 第1方位標 (〇〇〇種汎用標(1')) | 第2方位標 (〇〇〇種汎用標(1')) | 第3方位標 (〇〇〇私明標) | |
| (方向角 243° 21' 36") | (方向角 11° 38' 35") | (方向角 88° 18' 32") | |
|  |  |  | |
| 詳細図 | | 案内図 (MD 14-2-34) 1/10,000 | |
|  | |  | |

調製 令和〇年〇月〇日

注: GNSS を使用した場合は備考欄に「GNSS 測量による」とアンテナ高を明記すること。

品質評価表 個別表(一次基準点記載例)

| データ品質適用範囲 | | 横浜市公共一次基準点 | | |
|-----------|--------------|--------------------------------------|--|----------------------------|
| 品質要素 | | 品質要求 | 品質評価方法 | 品質評価結果 |
| 完全性 | 過剰 | 誤率 0% | (全数検査)成果数値データ等に、重複又は過剰なデータはないか検査プログラムまたは目視で検査 | 誤率 0% |
| | 漏れ | 誤率 0% | (全数検査)成果数値データ等に、漏れのデータはないか検査プログラムまたは目視で検査 | 誤率 0% |
| 論理一貫性 | 書式一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)成果数値データが成果数値データファイル標準様式に適合しているか検査プログラム等で検査 | 誤率 0% |
| | 概念一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)成果数値データ等が応用スキーマと矛盾がないか検査プログラム等で検査 | 誤率 0% |
| | 定義域一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)成果数値データ等が定められた定義域の中にあるか検査プログラム等で検査 | 誤率 0% |
| | 位相一貫性 | ————— | ————— | ————— |
| 位置正確度 | 絶対又は外部正確度 | 水平位置の標準編差5cm以内 標高の標準編差10cm以内 | (全数検査)平均計算による水平位置の標準編差、標高の標準編差が許容範囲内か精度管理表より許容範囲内か目視等で検査 | 水平位置の標準編差2cm 標高の標準編差5cm |
| | 相対又は内部正確度 | 点検測量の結果の重複する基線ベクトルの水平20mm以内、高さ30mm以内 | 10%抽出の点検測量結果は精度管理表より許容範囲内か目視等で検査 | 水平:10mm 高さ:15mm |
| | グリッドデータ位置正確度 | ————— | ————— | ————— |
| 時間正確度 | 時間測定正確度 | ————— | ————— | ————— |
| | 時間一貫性 | ————— | ————— | ————— |
| | 時間妥当性 | ————— | ————— | ————— |
| 主題正確度 | 分類の正しさ | ————— | ————— | ————— |
| | 非定量的属性の正しさ | 誤率 0% | (全数検査)成果数値データが製品仕様書等と比較して、属性が正しく記載されているか検査 | 誤率 0% |
| | 定量的属性の正しさ | ————— | ————— | ————— |

※品質評価は、抽出検査及び全数検査により行う。

※品質評価における品質要求及び品質評価方法は、製品仕様書に基づき記載するものとする。

※評価をしないものは————— で表示する。

用紙の大きさはA4判とする。

品質評価表 総括表

| | | | |
|--------|---------------------------|-------|-------------------|
| 製 品 名 | 横浜市道路台帳平面図情報レベル 500 空間データ | | |
| ライセンス | 横浜市 | 作成時期 | 令和〇〇年〇〇月〇〇日 (納品日) |
| 作成者 | 横浜市道路局道路部道路調査課 | 座 標 系 | 平面直角座標系 区系 |
| 領域又は地名 | 横浜市全域 | 検査実施者 | 株式会社〇〇測量 課長〇〇 〇〇 |

| 番号 | データ品質適用範囲 | 品質要求 | | | | | 品質評価結果 (合否) | |
|----|---------------------|----------|------------|---------------------------|--------------|-------------------|----------------|----|
| | | 完全性 | 論 理 一貫性 | 位 置 正 確 度 | 時 間 正 確 度 | 主 題 正 確 度 | | |
| 1 | 道路、鉄道 | 誤率 0% | 誤率 0% | 水平位置の 標準誤差 0.25m 以内 | — | 誤率 0% | 合格 | |
| 2 | 行政区、行政界 | 誤率 0% | | | | 座標成果と の較差 0m | 誤率 0% | 合格 |
| 3 | 基準点 | 誤率 0% | | | | | 誤率 0% | 合格 |
| 4 | 地図記号、地図情報レベル 500 注記 | 誤率 10%以内 | | 水平位置の 標準偏差 0.25m 以内 | | 誤率 10%以内 | 合格 | |
| 5 | 道路施設、鉄道施設 | 誤率 5%以内 | | | | 誤率 5%以内 | 合格 | |
| 6 | 建物 | 誤率 5%以内 | | | | 誤率 5%以内 | 合格 | |
| 7 | 水域(河川・湖沼等) | 誤率 5%以内 | | | | 誤率 5%以内 | 合格 | |
| 8 | 道路境界標 | 誤率 0% | | | | 座標成果との 標準偏差 0m | 誤率 0% | 合格 |
| 9 | 植生、小物体 | 誤率 10%以内 | | | | | 誤率 10%以内 | 合格 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

品質評価表 個別表

| データ品質適用範囲 | | 道路、鉄道 | | |
|-----------|--------------|--------------------|--|-----------------|
| 品質要素 | | 品質要求 | 品質評価方法 | 品質評価結果 |
| 完全性 | 過剰 | 誤率 0% | (全数検査)参考資料と比較し、重複又は余分なデータがないか検査プログラム又は目視で検査 | 誤差 0% |
| | 漏れ | 誤率 0% | (全数検査)参考資料と比較し、不足したデータがないか検査プログラム又は目視で検査 | 誤差 0% |
| 論理一貫性 | 書式一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)数値道路台帳平面図データファイル形式の仕様に適合しているか検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| | 概念一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)インデックスレコードに対して矛盾が無い検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| | 定義域一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)主題属性の定義域並びに地物の空間及び時間範囲の定義域の中にあるか検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| | 位相一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)図形同士の位置関係の一貫性が保たれているかを検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| 位置正確度 | 絶対又は外部正確度 | 水平位置の標準偏差 0.25m 以内 | (全数検査)数値道路台帳平面図データと成果数値データを検査プログラム又はモニター表示にて目視検査 | 水平位置の標準偏差 0.25m |
| | 相対又は内部正確度 | — | — | — |
| | グリッドデータ位置正確度 | — | — | — |
| 時間正確度 | 時間測定正確度 | — | — | — |
| | 時間一貫性 | — | — | — |
| | 時間妥当性 | — | — | — |
| 主題正確度 | 分類の正しさ | 誤率 0% | (全数検査)地物と参考資料又は現地で分類に矛盾がないか一対一の比較検査 | 誤率 0% |
| | 非定量的属性の正しさ | 誤率 0% | (全数検査)地物と参考資料又は現地で種別名称等に矛盾がないか一対一の比較検査 | 誤率 0% |
| | 定量的属性の正確度 | — | — | — |

品質評価表 個別表

| データ品質適用範囲 | | 行政区、行政界 | | |
|-----------|------------------|-----------------------|---|-----------------|
| 品質要素 | | 品質要求 | 品質評価方法 | 品質評価結果 |
| 完全性 | 過剰 | 誤率 0% | (全数検査) 参考資料と比較し、重複又は余分なデータがないか検査プログラム又は目視で検査 | 誤差 0% |
| | 漏れ | 誤率 0% | (全数検査) 参考資料と比較し、不足したデータがないか検査プログラム又は目視で検査 | 誤差 0% |
| 論理 一貫性 | 書式一貫性 | 誤率 0% | (全数検査) 数値道路台帳平面図データファイル形式の仕様に適合しているか検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| | 概念一貫性 | 誤率 0% | (全数検査) インデックスレコードに対して矛盾が無いか検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| | 定義域一貫性 | 誤率 0% | (全数検査) 主題属性の定義域並びに地物の空間及び時間範囲の定義域の中にあるか検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| | 位相一貫性 | 誤率 0% | (全数検査) 図形同士の位置関係の一貫性が保たれているかを検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| 位置 正確度 | 絶対又は外部 正確度 | 水平位置の標準偏差 0.25m 以内 | (全数検査) 数値道路台帳平面図データと成果数値データを検査プログラム又はモニター表示にて目視検査 | 水平位置の標準偏差 0.25m |
| | 相対又は内部 正確度 | — | — | — |
| | グリッドデータ 位置正確度 | — | — | — |
| 時間 正確度 | 時間測定 正確度 | — | — | — |
| | 時間一貫性 | — | — | — |
| | 時間妥当性 | — | — | — |
| 主題 正確度 | 分類の正しさ | 誤率 0% | (全数検査) 地物と参考資料又は現地で分類に矛盾がないか一対一の比較検査 | 誤率 0% |
| | 非定量的属性 の正しさ | 誤率 0% | (全数検査) 地物と参考資料又は現地で種別名称等に矛盾がないか一対一の比較検査 | 誤率 0% |
| | 定量的属性の 正確度 | — | — | — |

品質評価表 個別表

| データ品質適用範囲 | | 基準点 | | |
|-----------|--------------|-------------|--|-------------|
| 品質要素 | | 品質要求 | 品質評価方法 | 品質評価結果 |
| 完全性 | 過剰 | 誤率 0% | (全数検査)参考資料と比較し、重複又は余分なデータがないか検査プログラム又は目視で検査 | 誤差 0% |
| | 漏れ | 誤率 0% | (全数検査)参考資料と比較し、不足したデータがないか検査プログラム又は目視で検査 | 誤差 0% |
| 論理一貫性 | 書式一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)数値道路台帳平面図データファイル形式の仕様に適合しているか検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| | 概念一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)インデックスレコードに対して矛盾が無い検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| | 定義域一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)主題属性の定義域並びに地物の空間及び時間範囲の定義域の中にあるか検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| | 位相一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)図形同士的位置関係の一貫性が保たれているかを検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| 位置正確度 | 絶対又は外部正確度 | 座標成果との較差 0m | (全数検査)数値道路台帳平面図データと成果数値データを検査プログラム又はモニター表示にて目視検査 | 座標成果との較差 0m |
| | 相対又は内部正確度 | — | — | — |
| | グリッドデータ位置正確度 | — | — | — |
| 時間正確度 | 時間測定正確度 | — | — | — |
| | 時間一貫性 | — | — | — |
| | 時間妥当性 | — | — | — |
| 主題正確度 | 分類の正しさ | 誤率 0% | (全数検査)地物と参考資料又は現地で分類に矛盾がないか一対一の比較検査 | 誤率 0% |
| | 非定量的属性の正しさ | 誤率 0% | (全数検査)地物と参考資料又は現地で種別名称等に矛盾がないか一対一の比較検査 | 誤率 0% |
| | 定量的属性の正確度 | — | — | — |

品質評価表 個別表

| データ品質適用範囲 | | 地図記号、地図情報レベル 500 注記 | | |
|-----------|--------------|---------------------|--|-----------------|
| 品質要素 | | 品質要求 | 品質評価方法 | 品質評価結果 |
| 完全性 | 過剰 | 誤率 10%以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した地物を参考資料、空中写真又は現地で検査 | 誤差 3.0% |
| | 漏れ | 誤率 10%以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した地物を参考資料、空中写真又は現地で検査 | 誤差 2.0% |
| 論理一貫性 | 書式一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)数値道路台帳平面図データファイル形式の仕様に適合しているか検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| | 概念一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)インデックスレコードに対して矛盾が無い検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| | 定義域一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)主題属性の定義域並びに地物の空間及び時間範囲の定義域の中にあるか検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| | 位相一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)図形同士の位置関係の一貫性が保たれているかを検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| 位置正確度 | 絶対又は外部正確度 | 水平位置の標準偏差 0.25m 以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した地物を現地で検査 | 水平位置の標準偏差 0.25m |
| | 相対又は内部正確度 | 水平位置の標準偏差 0.25m 以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した地物を現地で検査 | 水平位置の標準偏差 0.25m |
| | グリッドデータ位置正確度 | — | — | — |
| 時間正確度 | 時間測定正確度 | — | — | — |
| | 時間一貫性 | — | — | — |
| | 時間妥当性 | — | — | — |
| 主題正確度 | 分類の正しさ | 誤率 10%以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した地物と参考資料、空中写真又は現地で一対一の比較検査 | 誤率 3.5% |
| | 非定量的属性の正しさ | 誤率 10%以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した地物と参考資料、空中写真又は現地で一対一の比較検査 | 誤率 5.8% |
| | 定量的属性の正確度 | — | — | — |

品質評価表 個別表

| データ品質適用範囲 | | 道路施設、鉄道施設 | | |
|-----------|--------------|--------------------|--|-----------------|
| 品質要素 | | 品質要求 | 品質評価方法 | 品質評価結果 |
| 完全性 | 過剰 | 誤率 5%以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した地物を参考資料、空中写真又は現地で検査 | 誤差 0% |
| | 漏れ | 誤率 5%以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した地物を参考資料、空中写真又は現地で検査 | 誤差 2.0% |
| 論理一貫性 | 書式一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)数値道路台帳平面図データファイル形式の仕様に適合しているか検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| | 概念一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)インデックスレコードに対して矛盾が無い検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| | 定義域一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)主題属性の定義域並びに地物の空間及び時間範囲の定義域の中にあるか検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| | 位相一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)図形同士の位置関係の一貫性が保たれているかを検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| 位置正確度 | 絶対又は外部正確度 | 水平位置の標準偏差 0.25m 以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した地物を現地で検査 | 水平位置の標準偏差 0.25m |
| | 相対又は内部正確度 | 水平位置の標準偏差 0.25m 以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した地物を現地で検査 | 水平位置の標準偏差 0.25m |
| | グリッドデータ位置正確度 | — | — | — |
| 時間正確度 | 時間測定正確度 | — | — | — |
| | 時間一貫性 | — | — | — |
| | 時間妥当性 | — | — | — |
| 主題正確度 | 分類の正しさ | 誤率 10%以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した地物と参考資料、空中写真又は現地で一対一の比較検査 | 誤率 3.5% |
| | 非定量的属性の正しさ | 誤率 10%以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した地物と参考資料、空中写真又は現地で一対一の比較検査 | 誤率 5.8% |
| | 定量的属性の正確度 | — | — | — |

品質評価表 個別表

| データ品質適用範囲 | | 建物 | | |
|-----------|--------------|--------------------|--|-----------------|
| 品質要素 | | 品質要求 | 品質評価方法 | 品質評価結果 |
| 完全性 | 過剰 | 誤率 5%以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した地物を参考資料、空中写真又は現地で検査 | 誤差 0% |
| | 漏れ | 誤率 5%以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した地物を参考資料、空中写真又は現地で検査 | 誤差 2.0% |
| 論理一貫性 | 書式一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)数値道路台帳平面図データファイル形式の仕様に適合しているか検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| | 概念一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)インデックスレコードに対して矛盾が無い検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| | 定義域一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)主題属性の定義域並びに地物の空間及び時間範囲の定義域の中にあるか検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| | 位相一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)離れている、接している、重なっている等の図形同士の位置関係の一貫性が保たれているかを検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| 位置正確度 | 絶対又は外部正確度 | 水平位置の標準偏差 0.25m 以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した地物を現地で検査 | 水平位置の標準偏差 0.25m |
| | 相対又は内部正確度 | 水平位置の標準偏差 0.25m 以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した地物を現地で検査 | 水平位置の標準偏差 0.25m |
| | グリッドデータ位置正確度 | — | — | — |
| 時間正確度 | 時間測定正確度 | — | — | — |
| | 時間一貫性 | — | — | — |
| | 時間妥当性 | — | — | — |
| 主題正確度 | 分類の正しさ | 誤率 10%以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した地物と参考資料、空中写真又は現地で一対一の比較検査 | 誤率 3.5% |
| | 非定量的属性の正しさ | 誤率 10%以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した地物と参考資料、空中写真又は現地で一対一の比較検査 | 誤率 5.8% |
| | 定量的属性の正確度 | — | — | — |

品質評価表 個別表

| データ品質適用範囲 | | 水域(河川・湖沼等) | | |
|-----------|--------------|--------------------|--|-----------------|
| 品質要素 | | 品質要求 | 品質評価方法 | 品質評価結果 |
| 完全性 | 過剰 | 誤率 5%以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した地物を参考資料、空中写真又は現地で検査 | 誤差 0% |
| | 漏れ | 誤率 5%以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した地物を参考資料、空中写真又は現地で検査 | 誤差 2.0% |
| 論理一貫性 | 書式一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)数値道路台帳平面図データファイル形式の仕様に適合しているか検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| | 概念一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)インデックスレコードに対して矛盾が無い検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| | 定義域一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)主題属性の定義域並びに地物の空間及び時間範囲の定義域の中にあるか検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| | 位相一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)図形同士の位置関係の一貫性が保たれているかを検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| 位置正確度 | 絶対又は外部正確度 | 水平位置の標準偏差 0.25m 以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した地物を現地で検査 | 水平位置の標準偏差 0.25m |
| | 相対又は内部正確度 | 水平位置の標準偏差 0.25m 以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した地物を現地で検査 | 水平位置の標準偏差 0.25m |
| | グリッドデータ位置正確度 | — | — | — |
| 時間正確度 | 時間測定正確度 | — | — | — |
| | 時間一貫性 | — | — | — |
| | 時間妥当性 | — | — | — |
| 主題正確度 | 分類の正しさ | 誤率 10%以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した地物と参考資料、空中写真又は現地で一対一の比較検査 | 誤率 3.5% |
| | 非定量的属性の正しさ | 誤率 10%以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した地物と参考資料、空中写真又は現地で一対一の比較検査 | 誤率 5.8% |
| | 定量的属性の正確度 | — | — | — |

品質評価表 個別表

| データ品質適用範囲 | | 道路境界標 | | |
|-----------|--------------|-------------|---|-------------|
| 品質要素 | | 品質要求 | 品質評価方法 | 品質評価結果 |
| 完全性 | 過剰 | 誤率 0% | (全数検査) 参考資料と比較し、重複又は余分なデータがないか検査プログラム又は目視で検査 | 誤差 0% |
| | 漏れ | 誤率 0% | (全数検査) 参考資料と比較し、不足したデータがないか検査プログラム又は目視で検査 | 誤差 0% |
| 論理一貫性 | 書式一貫性 | 誤率 0% | (全数検査) 数値道路台帳平面図データファイル形式の仕様に適合しているか検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| | 概念一貫性 | 誤率 0% | (全数検査) インデックスレコードに対して矛盾が無いか検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| | 定義域一貫性 | 誤率 0% | (全数検査) 主題属性の定義域並びに地物の空間及び時間範囲の定義域の中にあるか検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| | 位相一貫性 | 誤率 0% | (全数検査) 図形同士の位置関係の一貫性が保たれているかを検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| 位置正確度 | 絶対又は外部正確度 | 座標成果との較差 0m | (全数検査) 数値道路台帳平面図データと成果数値データを検査プログラム又はモニター表示にて目視検査 | 座標成果との較差 0m |
| | 相対又は内部正確度 | — | — | — |
| | グリッドデータ位置正確度 | — | — | — |
| 時間正確度 | 時間測定正確度 | — | — | — |
| | 時間一貫性 | — | — | — |
| | 時間妥当性 | — | — | — |
| 主題正確度 | 分類の正しさ | 誤率 0% | (全数検査) 地物と参考資料又は現地で分類に矛盾がないか一対一の比較検査 | 誤率 0% |
| | 非定量的属性の正しさ | 誤率 0% | (全数検査) 地物と参考資料又は現地で種別名称等に矛盾がないか一対一の比較検査 | 誤率 0% |
| | 定量的属性の正確度 | — | — | — |

品質評価表 個別表

| データ品質適用範囲 | | 植生、小物体 | | |
|-----------|--------------|--------------------|--|-----------------|
| 品質要素 | | 品質要求 | 品質評価方法 | 品質評価結果 |
| 完全性 | 過剰 | 誤率 10%以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した区域を参考資料、空中写真又は現地で検査 | 誤差 3.0% |
| | 漏れ | 誤率 10%以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した区域を参考資料、空中写真又は現地で検査 | 誤差 2.0% |
| 論理一貫性 | 書式一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)数値道路台帳平面図データファイル形式の仕様に適合しているか検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| | 概念一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)インデックスレコードに対して矛盾が無い検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| | 定義域一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)主題属性の定義域並びに地物の空間及び時間範囲の定義域の中にあるか検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| | 位相一貫性 | 誤率 0% | (全数検査)図形同士の位置関係の一貫性が保たれているかを検査プログラムで検査 | 誤差 0% |
| 位置正確度 | 絶対又は外部正確度 | 水平位置の標準偏差 0.25m 以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した地域を数値図又は現地で検査 | 水平位置の標準偏差 0.25m |
| | 相対又は内部正確度 | — | — | — |
| | グリッドデータ位置正確度 | — | — | — |
| 時間正確度 | 時間測定正確度 | — | — | — |
| | 時間一貫性 | — | — | — |
| | 時間妥当性 | — | — | — |
| 主題正確度 | 分類の正しさ | 誤率 10%以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した地物と参考資料、空中写真又は現地で一対一の比較検査 | 誤率 3.5% |
| | 非定量的属性の正しさ | 誤率 10%以内 | (2%抜取検査)評価手順に基づき選択した地物と参考資料、空中写真又は現地で一対一の比較検査 | 誤率 4.8% |
| | 定量的属性の正確度 | — | — | — |

成果数値データファイル標準様式

基本構造

- 1) 1行1レコードのカンマ区切りのテキストファイルとする。
- 2) 文字コードはASCIIコード、漢字コードはシフトJISコードとする。
- 3) 拡張子は“TXT”とする。
- 4) レコードの記述方法

| | | | | | | | |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| データ区分 | 区切り | 項目1 | 区切り | ・・・ | 項目n | 区切り | CRLF |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|

| | |
|---------|--|
| データ区分 | その行のデータの種類を表す記号。1文字目が英字、2,3文字目が数字の3文字とする。 |
| 区切り | 各データの項目は、「,」（カンマ）によって区切るものとする。 項目を省略する場合は、「, , ,」とする。（スペースは入れない。） |
| 項目1～項目n | データ区分に応じて項目数は変わる。項目数は記述内容のとおり。 |
| CRLF | 各行の終了コード（0D0Ah）で、各行の最大長は、CRLFを含まず、128バイトとする。 |

留意事項

- 1) 名称・コメントなど、文字として認識するデータには、“, ”（カンマ）を使用しない。
- 2) 点名称、測器名称、標尺名称、水準点番号などの名称、コメントは全角文字（英数字については半角文字を原則とする）とし、それ以外のデータは、半角文字とする。

記述内容

1) 説明文

データ区分：Z00～Z03

内 容：作業内容のコメントを記載する。

Z00 コメント(省略可)、フォーマット識別子、フォーマットバージョン(02.00で固定)

Z01 業務タイトル名(基準点のみ省略可)

Z02 測地系(0(世界測地系)、1(日本測地系))、平面直角座標系番号(省略可)：Z02は基準点のみ適用

2) 開始データ

データ区分：A00(基準点)

内 容：成果表データの開始フラッグ

3) データ

データ区分：A01(基準点)

内 容：点番号、点名称、緯度、経度、X座標、Y座標、座標系、標高、等級

①点番号：基準点は5桁の整数を標準とする。

②名 称：40バイト以下

③緯 度：小数点形式とし秒以下4桁とする。(DD° .MM' SS"SSSS)

④経 度：小数点形式とし秒以下4桁とする。(DDD° .MM' SS"SSSS)

⑤X座標：小数点形式、m単位とし、基準点はm以下3桁までとする。

⑥Y座標：小数点形式、m単位とし、基準点はm以下3桁までとする。

⑦座標系：平面直角座標系番号

⑧標 高：小数点形式、m単位とし、m以下3桁までとする。

4) データの終了

データ区分：A99(基準点)

内 容：成果表データの終了フラッグ

| 測 量 標 新 旧 位 置 明 細 書 | | | | | | | | | | |
|---------------------|-----------|----------------|-----|---|-------------------------|-----|---------|---------------------|-----------|-----|
| 作 業 区 分 | 級 種 別 | 番 号 ・ 名 称 | 新 旧 | | 所 在 地 | 地 目 | 敷 地 面 積 | 復 旧 を 行 っ た 理 由 | 設 置 年 月 日 | 備 考 |
| | | | 新 | 旧 | | | | | | |
| 再 設 | 一 次 基 準 点 | 〇〇〇 (〇〇〇横浜) | 新 | 旧 | 横 浜 市 〇 〇 区 〇 〇 町 123-1 | 宅 地 | | 測 量 標 効 用 保 全 の た め | R 2.6.21 | |
| | | | 旧 | 新 | 横 浜 市 〇 〇 区 〇 〇 町 123-7 | 宅 地 | | | R 2.9.15 | |
| | | | 新 | 旧 | | | | | | |
| | | | 新 | 旧 | | | | | | |
| | | | 新 | 旧 | | | | | | |
| | | | 新 | 旧 | | | | | | |
| | | | 新 | 旧 | | | | | | |
| | | | 新 | 旧 | | | | | | |
| | | | 新 | 旧 | | | | | | |

作業区分欄には、再設または廃棄の区分を記載する。
用紙の大きさはA4判とする。|

記 載 要 領

証 明 書

発行No.: KJ- 77063
発行日: 平成 29年10月21日

機械定数証明書

社内検査の結果、下記の通りであることを証明致します。

型 名 ET-2

機械番号 P70174

検査年月日 H29年11月20日

| | |
|------|----|
| 機械定数 | +8 |
|------|----|

当社光波測距儀は機械内部に定数を組み込んでおりますので、
機器に対する定数の補正は必要ありません。

株式会社 ○○○○

発行No. :PJ- 97039
発行日 :平成 9 年 / 0 月 2 / 日

プリズム定数証明書

当社プリズムユニット（固定1素子、チルト1素子、固定3素子、チルト3素子、固定9素子、回光燈用3素子、ピンポールプリズムセット）のプリズム定数は「0mm」であることを証明致します。
当社光波測距儀において上記ユニットを使用の場合は反射鏡に対する補正の必要はありません。

株式会社 ○○○○

発行No.:KH-97034
発行日:平成9年10月2/日

光波測距儀気象補正計算書

当社 ET-2 における気象補正計算は下記のとおりです。

$$Ka = \left\{ 279.66 - \frac{106.036 \times P}{273.16 + t} \right\} \times 10^{-6}$$

Ka : 気象補正值
P : 気圧 (mmHg)
t : 気温 (°C)

気象補正後の距離 L(m) は次のようになります。

$$L = l(1 + Ka)$$

l : 気象補正しない時の測定距離

(例) 気温 +20°C、気圧 635mmHg、l = 1000m の時

$$Ka = \left\{ 279.66 - \frac{106.036 \times 635}{273.16 + 20} \right\} \times 10^{-6}$$

$$\approx 50 \times 10^{-6} \quad (50\text{ppm})$$

$$L = 1000 \times (1 + 50 \times 10^{-6}) = 1000.050\text{m}$$

尚、気象補正值を設定するかまたは、気温・気圧を設定すると本体内で自動的に補正します。本機では、気温 +15°C、気圧 760mmHg が基準 (0ppm) となっています。

株式会社 ○○○○

觀 測 手 簿

観測手簿

距離観測簿記載上の注意

1 手簿の上欄には、次の事項を記載する。

(1) 測点名及び反射点名

測点名は、三角点では番号、等級、名称、新点では、番号、名称、節点では番号のみを記入する。また、反射点は番号のみとする。

(2) 観測者及び手簿者の氏名

(3) 気温及び気圧

(4) 器械高及び反射鏡高

(5) 測点(G)及び反射点(R)と標識(標石又は金属標等)(C)の関係

(6) 天候

(7) 観測年月日(第1頁は年月日を、事項よりは月日のみ記入する。)

(8) 観測時刻(24時間制の表示とする。)

(9) 器械及び反射鏡の番号及び反射鏡の個数(素子数)

(10) (1)、(3)の各項については、頁の変わるたびに記入する。他の項については、変更の都度記入する。

2 同一測点において測器の位置を変えたとき、又は、反射点の2箇所以上の位置に反射鏡を設置した場合は、(G)及び(R)の記号に1・2……の腰符をつけて区分する。

例) 測点 偏心 ; $G_1=C$ $G_2 \neq C$
 反射点 偏心 ; $R_1=C$ $R_2 \neq C$

3 観測簿の記載は、原則として、インク(青又は黒)を用いるものとする。ただし、雨天等のため、インクを用いることが困難な場合は、その理由を記入の上、鉛筆書きとし、着墨してはならない。

4 計算欄の数字の訂正は、旧の数字が読めるように斜線で抹消し、余白に正しい数字を記載する。数字を抹消するにあたって小刀、インク消等を使用してはならない。

5 不採用の観測値は、斜線をもって抹消し、その理由を余白に記入する。

例) (1) 読定差大 (2) 読定値 $(1+4) - (2+3)$ の較差大
 (3) 200の整数倍大 (4) 検測

再測を行った場合は採用値のある頁を記入するものとする。

6 点検者が記載する事項及び検符は、赤色のインクを用いる。

7 点検者の点検を受けた後に、不採用のため抹消するときは、その理由を記入(青色)し、点検者の了承を得て斜線(朱色又は赤インク)を記入するものとする。

8 距離の計算は、mm位まで行う。

距離直読式 (型) 測定手簿

971

| | | | | | |
|--|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|--|
| 測点 | 601 | | 測点 | 風 | |
| | (理想数) | | | | |
| 1. 器械番号 No. | _____ | | 測定者: | _____ | |
| 2. 温度計の種類: | _____ | | 手簿者: | _____ | |
| 3. 気圧計の種類: | _____ | | | m | |
| 4. 標高の種類と標高: 成果表, 概算, 地形図(1/5万, 1/2.5万, 其他) | _____ | | | _____ | |
| 5. 反射点の標高の種類: 成果表, 概算, 地形図(1/5万, 1/2.5万, 其他) | _____ | | | _____ | |
| 測点名 | 400 | 同上 | 600 | 同上 | |
| 標高 | m | m | m | m | |
| 器械点の偏心 | B=C | | B=C | | |
| 反射点の偏心 | P=C | | P=C | | |
| 測定年月日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 測定時刻 | 自 15 ^h 22 ^m | 自 15 ^h 28 ^m | 自 15 ^h 45 ^m | 自 15 ^h 42 ^m | |
| | 至 23 ^m | 至 29 ^m | 至 46 ^m | 至 42 ^m | |
| 反射鏡素子数 | AGA 3 | | 177 1 | | |
| 器械高 | 0.800 | m | 0.800 | m | |
| 反射鏡高 | 1.900 | m | 1.400 | m | |
| 温度 | 10℃ | 10℃ | 10℃ | 10℃ | |
| 気圧 | 1016 mmHg mb | 1016 mmHg mb | 1016 mmHg mb | 1016 mmHg mb | |
| 気象補正の方法 | 24916 -3 | -3 | -3 | -3 | |
| 測定値 | 1 838.525 | 838.525 | 848.078 | 848.078 | |
| | 2 .525 | .525 | .078 | .078 | |
| | 3 . | . | . | . | |
| | 4 . | . | . | . | |
| | 5 . | . | . | . | |
| 測定値の平均 | 838.525 | 838.525 | 848.078 | 848.078 | |
| 気象補正量 | - | - | - | - | |
| 器械定数 | + 0.034 | 0.034 | 0.034 | 0.034 | |
| 反射鏡定数 | - 0.030 | 0.030 | 0.030 | 0.030 | |
| 測定距離 | 838.529 | 838.529 | 848.082 | 848.082 | |
| 備考 | 平均 838.529 | | 848.082 | | |

横浜市道路局

距離直読式(トコシ QTS-310 型) 観測簿 35

| | | | | | |
|------------------|-------------------|-----------------|--------|--------------------|---------|
| 路線番号 II 4157'007 | | 77年 10月 5日 天候 曇 | | 観測者 ○○○○ | |
| | | 器板番号 No. Q 4061 | | 手簿者 ○○○○ | |
| 測点 | 名称 | II 415-16 | | II 415-16 | |
| | 偏心 | $\delta=C$ | = | $\delta=C$ | = |
| 定数 | 器高 | 1.550 m | | 1.550 m | |
| | 器板(E) | 0.000 m | | 0.000 m | |
| 反射点 | 名称 | II 415-17 | | II 415-15 | |
| | 偏心 | $\rho=C$ | = | $\rho=C$ | = |
| 器 | 器高 | 1.550 m | | 1.550 m | |
| | 器板 | ρh 25 m | | ρh 27 m | |
| 温度 | 温度 | 19 °C | | 19 °C | |
| | 湿度 | 76.4 mmHg | | 76.4 mmHg | |
| 気象補正(C) | 補正 | +2 | | +2 | |
| | 距離 | 97.353 m | | 114.469 m | |
| 測定 | 1 | 97.353 | 97.353 | 114.469 | 114.469 |
| | 2 | .353 | .353 | .469 | .469 |
| | 3 | | | | |
| | 4 | | | | |
| | 5 | | | | |
| | 6 | | | | |
| 平均 | | 97.353 | 97.353 | 114.469 | 114.469 |
| d = E + R + C | | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 |
| 観測距離(D) | | 97.353 | 97.353 | 114.469 | 114.469 |
| 傾高補正(1) | | | 97.353 | | 114.469 |
| " 反(2) | | | | | |
| α | $\alpha(1)$ | - | - | - | - |
| | $\alpha(2)$ | - | - | - | - |
| | $\alpha(n)$ | - | - | - | - |
| | $\sin \alpha =$ | -0. | -0. | -0. | -0. |
| | $\cos \alpha =$ | | | | |
| | H(1) = | m | m | m | m |
| | Dsin $\alpha =$ | - | - | - | - |
| | H(2) = | | | | |
| | H(n) = | | | | |
| | Dcos $\alpha =$ | m | m | m | m |
| | dD ₁ = | - | - | - | - |
| | S(球面) = | | | | |
| | dD ₂ = | - | - | - | - |
| | s(平面) = | | | | |
| Kの計算 | () = | 器 尺 係 数 | | () = | |
| | () = | | | 中数 K = | |
| | () = | | | K - 1 = | |
| | () = | | | $(K-1) \times 2 =$ | |
| | () = | | | | |

横浜市道路局

$dD_1 = -HD/R$

点検者 ○○○○

G P S 測 量 観 測 手 簿

観測点 :10

受信機名 :○○○○

受信機番号 :301

アンテナ番号 :134

データ取得間隔: 30 秒

最低高度角: 15 度

最小衛星数: 4 衛星

アンテナ高 :1.450m True Vert

セッション名 :171A

観測開始 日時:1996年6月19日 4時26分 UTC

観測終了 日時:1996年6月19日 5時39分 UTC

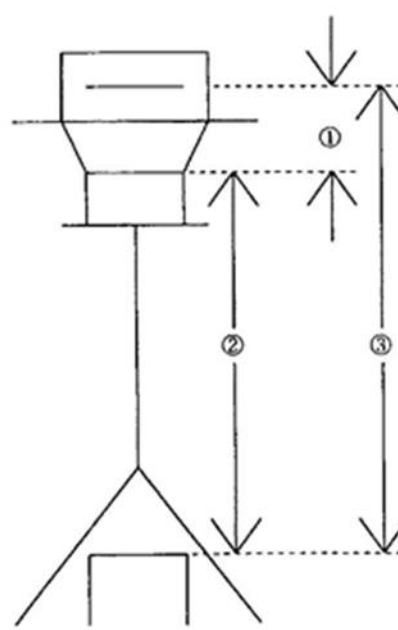
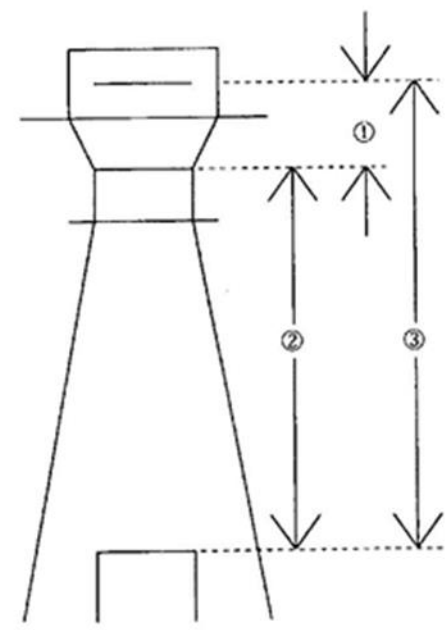
電波の受信状況

| | | |
|----------|-------|--|
| 衛星 NO. 2 | ----- | |
| 衛星 NO. 4 | ----- | |
| 衛星 NO. 7 | ----- | |
| 衛星 NO.14 | ----- | |
| 衛星 NO.15 | ----- | |
| 衛星 NO.18 | ----- | |
| 衛星 NO.29 | ----- | |
| 衛星 NO.31 | ----- | |

衛星の状態

| | | | | | | | | |
|------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 衛星番号 | NO.2 | NO.4 | NO.7 | NO.14 | NO.15 | NO.18 | NO.29 | NO.31 |
| 状態 | 正常 | 正常 | 正常 | 正常 | 正常 | 正常 | 正常 | 正常 |

G P S 観測記録簿

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|--|----------|----------|-------|--------|---------|----------|
| 観測年度 | 平成8年度 | 観測点名 | 1級等三角点 ←→ NO.31 | | | | | | | |
| 受信機の種類 | トプコンGP-R10Y | | 観測点 | <input checked="" type="checkbox"/> B=C <input type="checkbox"/> B ₁ ≠C | | | | | | |
| 受信機番号 | GN 1299 | | アンテナ番号 | BX 0129 | | | | | | |
| 観測点ID | 0302 | | 電波種類 | <input type="checkbox"/> 1周波 <input checked="" type="checkbox"/> 2周波 | | | | | | |
| 観測年月日 | 平成8年6月19日 | | 天候 | <input type="checkbox"/> 晴 <input checked="" type="checkbox"/> 曇 | | | | | | |
| 観測日時セッション番号 | 171A | | | <input type="checkbox"/> 雨 <input type="checkbox"/> 雪 | | | | | | |
| 観測場所 | <input checked="" type="checkbox"/> 地上 <input type="checkbox"/> 屋上 | | 観測者 | ○ ○ ○ ○ | | | | | | |
| 観測開始時刻 | 13h 27m | <input checked="" type="checkbox"/> JST <input type="checkbox"/> UTC | 機器高測定 <table border="1"> <tr> <td>① アンテナ定数</td> <td>0.064m ✓</td> </tr> <tr> <td>② 測定値</td> <td>5.560m</td> </tr> <tr> <td>③ アンテナ高</td> <td>5.624m ✓</td> </tr> </table> | | ① アンテナ定数 | 0.064m ✓ | ② 測定値 | 5.560m | ③ アンテナ高 | 5.624m ✓ |
| ① アンテナ定数 | 0.064m ✓ | | | | | | | | | |
| ② 測定値 | 5.560m | | | | | | | | | |
| ③ アンテナ高 | 5.624m ✓ | | | | | | | | | |
| 観測終了時刻 | 14h 42m | <input checked="" type="checkbox"/> JST <input type="checkbox"/> UTC | | | | | | | | |
| 観測時間 | 1h 15m ✓ | | | | | | | | | |
| 観測状態 | <input type="checkbox"/> 三脚 <input checked="" type="checkbox"/> タワー | | | | | | | | | |
|  <p>(<input type="checkbox"/> 石・<input checked="" type="checkbox"/> 金・<input type="checkbox"/> 杭又は鉄)</p> <p>GPSタワー</p> | | |  <p>(<input type="checkbox"/> 石・<input type="checkbox"/> 金・<input type="checkbox"/> 杭又は鉄)</p> <p>三脚</p> | | | | | | | |

水平角観測手簿記載上の注意

- 1 手簿の上欄には、次の事項を記載する。
 - (1) 測器の種類及びその番号
 - (2) 測点名の記載方法は「距離観測簿記載上の注意」の規定を適用する。
 - (3) 方向名の記載方法は番号のみとする。
 - (4) 観測点(B)、視準点(P)、標識(標石又は金属標)(C)の関係
 - (5) 観測者及び手簿者の氏名
 - (6) 観測年月日(第1頁は年月日を次頁よりは月日のみ記入する)・天候
- 2 1測点において観測点を変えたとき、又は、視準点が2個以上の場合は、B及びPに1・2……腰符をつけて区分し、下記の例によりそれぞれの頁に記入する。

例) (1) $(B_1=P) \neq C$ $B_2 \neq P \neq C$
 (2) $(B=P_1) \neq C$ $B \neq (P_2=C)$
- 3 望遠鏡右とは、目標に対し、望遠鏡が鉛直目盛盤の右側にある場合をいい、これを(r)で表わし、望遠鏡左とは、目標に対し、望遠鏡が鉛直目盛盤の左側にある場合をいい、これを(l)で表わす。
- 4 同一測点の観測が連続して2頁以上にわたるときは、測点名称欄は「同上」と記載し、第1頁に掲げる記載事項に変更があったもののみ記載する。
- 5 1対回の観測は、2頁にまたがってはならない。また一連列の観測が2頁にわたるときは、視準点名称欄、番号欄及び目標欄は、一連列の初めに記載したものと同様に記載する。
- 6 観測値を誤読又は誤記した場合の数字の訂正は、旧の数字が読めるように横線又は、斜線で抹消し、余白に再測値を記載する。
- 7 視準する目標の記号は、回照光は「◎」、回光灯は「火」、目標板は「□」、普通測標は「△」とする。
- 8 偏心図の寸法の標準は下表による。

| 区分 | 寸法 | 区分 | 寸法 | 区分 | 寸法 |
|----------|-----|---------|-----------|--------|-----------|
| Nの方向線の長さ | cm | 零方向線の長さ | cm 2.0 | φ角の半径 | cm 1.0 |
| 偏心距離の長さ | 1.5 | | | 中心角の半径 | 0.1 |

- 9 不採用の観測値は、斜線をもって抹消し、その理由を余白に記入する。

例) (1) 倍角差大 (2) 観測差大 (3) 辺長の較差大
 (4) 座標の較差大 (5) 検測 等

 再測を行った場合、採用した頁が同一の場合は省略してよいが、頁が変わるときは頁 数を記入する。
- 10 観測時間は24時間制の表示とする。

水平角観測手簿

123

| 測点 <u>601</u> (理化電機) 2月 8日 天候晴風 測器 <u>ニルテ</u> No. <u>161265</u> $\beta = \rho = c$ 観測者 <u>吉川和彦</u> 手簿者 <u>吉川和彦</u> | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----|-----|----|---------------|----|-----|----|----|-----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 時分 | 目盛 | 望遠鏡 | 番号 | 視準点 名称又は番号 | 目標 | 観測角 | | | 結果 | | | 倍角 | 倍角差 | 較差 | 観測差 |
| 22 | 24 | 0 | 1 | 600 | 甲 | 0 | 0 | 54 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| | | | 2 | 400 | 甲 | 171 | 45 | 19 | 171 | 44 | 25 | 50 | 15 | -25 | 25 |
| | | | 3 | | | 251 | 45 | 44 | 171 | 44 | 27 | | | | |
| | | | 1 | | | 180 | 1 | 17 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| | | | 1 | | | 220 | 12 | 7 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| | | | 2 | | | 81 | 57 | 42 | 171 | 44 | 24 | 50 | | 25 | |
| | | | 1 | | | 241 | 57 | 4 | 171 | 44 | 24 | | | | |
| 15 | 6 | | 1 | | | 90 | 13 | 40 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| 平均数 600 = 0 0 0 400 = 171 44 24 | | | | | | | | | | | | | | | |

横浜市道路局

水平角観測手簿

1111

| 測点 <u>SP6</u> (仮付四番乙) | | 1月20日 天候 風 | 測器 No. 111255 | | | | | | | | |
|--------------------------|----------------|------------|---------------|---------------|----|---|-----------|----|-----|----|-----|
| | | 観測者 | 手簿者 岸田 邦 | | | | | | | | |
| $A_2 = P_2 F C$ | | | | | | | | | | | |
| 時分 | 目盛 | 望遠鏡 | 番号 | 視準点 名称又は番号 | 目標 | 観測角 | 結果 | 倍角 | 倍角差 | 較差 | 観測差 |
| 偏心要素測定 | | | | | | | | | | | |
| 11:34 | 0 | V | 1 | SPK | 9 | 0 0 12 | 0 0 0 | | | | |
| | | | 2 | C | 9 | 201 11 22 | 201 10 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| | | | 3 | | | 151 12 10 | 151 10 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| | | | 1 | | | 20 1 21 | 0 0 0 | | | | |
| | P ₂ | 2 | 1 | | | 270 11 25 | 0 0 0 | | | | |
| | | | 2 | | | 241 22 12 | 241 10 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| | | | 1 | | | 21 21 26 | 201 10 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| 11:41 | | | 1 | | | 10 10 10 | 0 0 0 | | | | |
| | | | | | | 平均値 | | | | | |
| | | | | | | SPK = 0 0 0 | | | | | |
| | | | | | | C = 201 10 10 | | | | | |
| | | | | | | $e = 20.06K$... 観測記録 SP 202 $\varphi = 201 10 10$ | | | | | |

横浜市道路局

水平角観測手簿

10

| 刻点 時分 | | 目 盛 | 望遠鏡 号 | 視準点 名称又は番号 | 目 標 | 観測角 | 結果 | 倍 角 | 倍角差 | 較 差 | 観測差 |
|---------------------------|------|--------|----------|---------------|--------|-------------|-----------|--------|-----|--------|-----|
| 10月 5日 天候 風 測器 145676 | | | | | | | | | | | |
| 観名 II 415 7" ロック | | | | 観測者 記帳者 | | | | | | | |
| II 415-15 8:17 9:17 | 0 | r | 1 | II 415-16 | 甲 | 0 2 38 | 0 0 0 | | | | |
| | | | 2 | II 415-14 | 甲 | 266 48 53 | 266 42 15 | | | | |
| | | Q | 2 | | | 266 48 58 | 266 42 21 | | | | |
| | | | 1 | | | 180 2 37 | 0 0 0 | | | | |
| | 90 | Q | 1 | | | 270 12 19 | 0 0 0 | | | | |
| | | | 2 | | | 176 54 27 | 266 42 18 | | | | -2 |
| | | r | 2 | | | 256 54 33 | 266 42 16 | | | | |
| | 9:21 | | 1 | | | 90 12 17 | 0 0 0 | | | | |
| | | | | | | II 415-16 = | 0 0 0 | | | | |
| | | | | | | II 415-14 = | 266 42 18 | | | | |
| II 415-14 9:26 9:40 | 0 | r | 1 | II 415-15 | 甲 | 0 1 55 | 0 0 0 | | | | |
| | | | 2 | II 415-13 | 甲 | 180 59 14 | 180 57 19 | | | | |
| | | Q | 2 | | | 0 59 29 | 180 57 30 | | | | |
| | | | 1 | | | 180 1 59 | 0 0 0 | | | | |
| | 90 | Q | 1 | | | 270 11 48 | 0 0 0 | | | | |
| | | | 2 | | | 81 9 21 | 180 57 32 | | | | X7 |
| | | r | 2 | | | 271 9 10 | 180 57 26 | | | | |
| | 9:40 | | 1 | | | 90 11 44 | 0 0 0 | | | | |
| | | | | | | II 415-15 = | 0 0 0 | | | | |
| | | | | | | II 415-13 = | 180 57 28 | | | | |

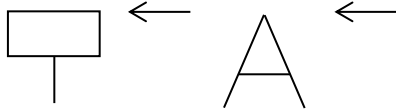
横浜市道路局

点検者 ○○○○

鉛直角観測手簿記載上の注意

- 1 水平角観測手簿記載上の注意事項のうち、1、2、3、4、5、6、7、8、10の各項を準用する。
- 2 視準位置は、器械高と同高が望ましい。特殊な位置を視準した場合は、目標記号に矢印をつけるものとする。

例)



- 3 時刻欄は、連続して観測した場合は、開始時刻と終了時刻のみを記載し、独立して観測した場合はその都度、記載する。
- 4 観測方向が1方向しかない場合は、必ず自然目標等を観測して、高度定数を点検する。
- 5 同一測点で経緯儀の高さを変更したときは、頁をかえて記載する。
- 6 不採用の観測値は、斜線をもって抹消し、その理由を記入する。

例) 定数差大 等

鉛直角観測手簿

168_L

| 時分 | | 望遠鏡 | 視準点 名称及び番号 | 目標 | 観測角 | 結果 | | 備考 |
|----------------------------|----|------------------------|---------------|----|-----------------------------------|----------------|----------------------|----|
| | | 測点 <u>601</u> (理化院) | | | 2月 28日 天候 風 測器 | | 観測者 ○○○○ 手簿者 ○○○○ | |
| | | | | | $A = P = C$ | | | |
| 15 | 10 | r | 600 | 甲 | 88 52.50 | $\gamma-l=2Z=$ | 177 10.22 | |
| | | | | | | $Z=$ | 88 52.50 | |
| | | | | | 271 52.8 | $\alpha=$ | 7 1 52.3P | |
| | | | | | 257 58.58 | $f=1.400$ | | |
| | | r | 400 | 甲 | 270 55.55 | $\gamma-l=2Z=$ | 178 2.15 | |
| | | | | | | $Z=$ | 87 2.38 | |
| 15 | 15 | r | | | 87 2.10 | $\alpha=$ | 7 2 56.2 | |
| | | | | | 257 59.5 | $f=1.900$ | | |
| | | | | | | $\gamma-l=2Z=$ | | |
| | | | | | | $Z=$ | | |
| | | | | | | $\alpha=$ | | |
| | | | | | | $\gamma-l=2Z=$ | | |
| | | | | | | $Z=$ | | |
| | | | | | | $\alpha=$ | | |
| | | | | | | $\gamma-l=2Z=$ | | |
| | | | | | | $Z=$ | | |
| | | | | | | $\alpha=$ | | |
| | | | | | | $\gamma-l=2Z=$ | | |
| | | | | | | $Z=$ | | |
| | | | | | | $\alpha=$ | | |
| 測 標 高 低 要 素 | | | | | 測標種類: A 標号: (601) 金属標 備考 | | | |

横浜市道路局

鉛直角観測簿

27

| 測角点 | | 方向 | 特 | 観測角 | 観測角 | | | 平均の計算 | 結果 | |
|--|---------|---------|------|-----|-----|---|----|-------|----|----|
| 器 | 標高 | 観測目標(高) | 分 | 度 | A | B | 平均 | | | |
| 線名 <u>Ⅱ4157"ロー7</u> 天候 <u>曇</u> 観測器 <u>310572 No. 145676</u> 観測者 <u>〇〇〇〇</u> 記録者 <u>〇〇〇〇</u> | | | | | | | | | | |
| K415-16 | B=C | Ⅱ415-17 | 2/21 | 1 | | | | 275 | 27 | 27 |
| | | | | 2 | | | | 274 | 27 | 27 |
| | | | | | | | | 270 | 27 | 27 |
| | | | | | | | | w=+ | 27 | |
| B=C | (1.550) | (1.550) | / | 1 | | | | 265 | 25 | 25 |
| | | | | 2 | | | | 264 | 24 | 24 |
| | | | | | | | | 260 | 24 | 24 |
| | | | | | | | | w=+ | 26 | |
| B=C | (1.550) | (1.550) | / | 1 | | | | | | |
| | | | | 2 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | w=-- | | |
| K415-17 | B=C | 5P(20) | 2/57 | 1 | | | | 277 | 27 | 27 |
| | | | | 2 | | | | 272 | 26 | 26 |
| | | | | | | | | 260 | 26 | 26 |
| | | | | | | | | w=+ | 27 | |
| B=C | (1.550) | (1.720) | / | 1 | | | | 265 | 27 | 27 |
| | | | | 2 | | | | 264 | 26 | 26 |
| | | | | | | | | 260 | 26 | 26 |
| | | | | | | | | w=+ | 26 | |
| B=C | (1.550) | (1.550) | / | 1 | | | | | | |
| | | | | 2 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | w=-- | | |
| K415-15 | B=C | Ⅱ415-16 | 2/21 | 1 | | | | 275 | 26 | 26 |
| | | | | 2 | | | | 274 | 26 | 26 |
| | | | | | | | | 270 | 25 | 25 |
| | | | | | | | | w=+ | 26 | |
| B=C | (1.550) | (1.550) | / | 1 | | | | | | |
| | | | | 2 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | w=+ | 26 | |
| B=C | (1.550) | (1.550) | / | 1 | | | | | | |
| | | | | 2 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | w=+ | 26 | |
| K415-14 | B=C | Ⅱ415-14 | 2/24 | 1 | | | | 267 | 26 | 26 |
| | | | | 2 | | | | 260 | 25 | 25 |
| | | | | | | | | 259 | 25 | 25 |
| | | | | | | | | w=+ | 26 | |

a 各対回平均値の和. w 観測常数(指標差) (360°-a) 点検者 〇〇〇〇
 Z' 望遠鏡右の観測値. Z 頂天距離 θ 垂直角 (90°-Z)

観測手簿

| | | | | | | | |
|---------------------------|--------------|---------------|--------------|--------------|-------------|----------|--------------|
| 測点 601 | | 観測年月日: ○○○ | | | | | |
| 観測点 (B = P ≠ C) | | 天候: 曇り | 風力: NANPUU | | | | |
| | | 観測者: ○○○○ | | | | | |
| 測器: ○○○ | 標石番号: | 標石の種類: | | | | | |
| 器械番号: P70931 | 柱石長: | 埋石差: | | | | | |
| 器械定数: | 記録方法: 自動 | 器械高: 1.390 m | | | | | |
| 気温: 13 °C | 気圧: 744 mmHg | 気象補正值: +4 ppm | | | | | |
| 開始時刻: 00:00 | | | | | | | |
| 目盛 | 視準点 名称 | 水平角 . . . | 結果 . . . | 鉛直角 . . . | 測定距離 m | 目標高 m | 反射鏡 定数 mm |
| 0° r | 1 600 | 0 00 35 | 0 00 00 | 84 23 46 | | 1.080 | +0 |
| | 2 400 | 282 36 43 | 282 36 08 | 101 00 30 | 113.741 742 | 1.380 | +0 |
| l | 2 | 102 36 34 | 282 36 09 | 258 59 32 | 113.742 741 | | |
| | 1 | 180 00 25 | 0 00 00 | 275 36 16 | | | |
| 90° l | 1 | 270 00 20 | 0 00 00 | | | | |
| | 2 | 192 36 27 | 282 36 07 | | | | |
| r | 2 | 12 36 40 | 282 36 10 | | | | |
| | 1 | 90 00 30 | 0 00 00 | | | | |
| 倍角差 観測差 定数差 セット内較差 セット間較差 | | | | | | | |
| 0° ✓ 4° ✓ 0° ✓ 1 1 0 ✓ | | | | | | | |
| 終了時刻: 00:00 | | | | | | | |
| 平均値 | 視準点 名称 | 水平角 . . . | 高低角 . . . | 測定距離 m | | | |
| [600 |] | 0 00 00 | 5 36 15 | | | | |
| [400 |] | 282 36 09 | -11 00 29 | 113.742 | | | |

路線番号(0427) 多角測量観測手簿

測点 029-1 97年 02月 05日 天候 ハレ 風 ヲク
 測器 P70262 観測者 HIRANAKA
 気圧 724 mmHg 温度 8.0°C PPM +06.6

| 時刻 | 目盛 | 望遠鏡 | 番号 | 視準点 名称又は番号 | 水 平 角 観 測 角 | 結 果 | 倍角 | 較差 |
|-------|----|-----|----|---------------|----------------|------------|-----|----|
| 16:51 | 0 | R | 1 | 029 | 0°01'00" | 0°00'00" | 98 | 0 |
| | | | 2 | 0427-16 | 222°36'49" | 222°35'49" | | |
| | | | L | 2 | 42°36'46" | 222°35'49" | | |
| 16:57 | 90 | L | 1 | | 270°01'00" | 0°00'00" | 104 | 2 |
| | | | 2 | | 132°36'51" | 222°35'51" | | |
| | | | R | 2 | 312°36'52" | 222°35'53" | | |
| 16:57 | | | 1 | | 90°00'59" | 0°00'00" | | |

水平角観測の結果

| 測 点 | 方 向 | 中 数 | 倍較差 | 観測差 |
|-------|---------|------------|-----|-----|
| 029-1 | 029 | 0°00'00" | | |
| B=C=P | 0427-16 | 222°35'51" | 6 | 2 ✓ |

| 時刻 | 望遠鏡 | 視準点 名称又は番号 | 鉛 直 観 測 角 | (i) | $r-1=2z$ $90' \div \alpha = z$ () α | 高 度 定数差 |
|-------|-----|---------------|---------------|-------|---|------------|
| 16:51 | R | 029 | 81°03'24" | 1.900 | 162°06'28" | 定数為検 |
| | L | | 278°56'56" | | | |
| 16:57 | R | 0427-16 | 88°08'02" | 1.550 | 176°15'45" | 1 ✓ |
| | | | 271°52'17" | | 88°07'53" | |
| | | | 360°00'19"(f) | | 1°52'07" | |

| 視準点 名称又は番号 | 斜距離 | セッ ト 間較差 | 平均斜距離 | 水平距離 |
|---------------|---------|----------------|-----------|---------|
| 0427-16 | 141.282 | 1 ✓ | 141.282 ✓ | 141.207 |
| | 141.283 | | | |

観測記簿

(一次基準点測量 観測記簿)

| 観 測 記 簿 | | | | | 2111 |
|---|--------------------------|------------------|--------------------------|-------------------|------|
| 測点 <u>601</u> (逐次電致) | | 測点標高番号(601) | | X = _____ m | |
| 水平角に関する偏心: <u>B.P.C</u> | | | | Y = _____ | |
| 高度角に関する偏心: _____ | | | | H = <u>26.010</u> | |
| 距離に関する偏心: _____ | | | | 縮尺係数 = 0.9999 () | |
| 測点名 | <u>600</u> | <u>400</u> | <u>403</u> | <u>405</u> | |
| (偏心距離) | P=C (—) | P=C (—) | P ₂ ≠C (1.60) | P=C (—) | |
| 電算式 | | | | | |
| 水 平 角 | | | | | |
| 平均値 | <u>0 0 0 / 171 44 26</u> | | | | |
| 観測の偏心 | | | | | |
| 目標の " | | | | | |
| 掃帯数 | | | | | |
| 中心の観測角 | <u>0 0 0 / 171 44 26</u> | | | | |
| 高 度 角 | | | | | |
| 視準箇所 | 甲 | 甲 | 甲 ₂ | 甲 | |
| 標高 | <u>48.840</u> | <u>38.720</u> | <u>41.240</u> | <u>47.890</u> | |
| 器械高 i ₁ | <u>0.800</u> | <u>0.800</u> | <u>0.800</u> | <u>0.800</u> | |
| " i ₂ | <u>1.400</u> | <u>1.900</u> | <u>1.500</u> | <u>2.000</u> | |
| 目標高 f ₁ | <u>0.800</u> | <u>0.800</u> | <u>0.800</u> | <u>0.800</u> | |
| " f ₂ | <u>1.400</u> | <u>1.900</u> | <u>1.500</u> | <u>2.000</u> | |
| 高度角 α ₁ | <u>+ 1 24 39</u> | <u>+ 0 56 22</u> | <u>+ 1 59 26</u> | <u>+ 0 59 16</u> | |
| " α ₂ | <u>- 1 25 6</u> | <u>- 0 56 53</u> | <u>- 1 59 53</u> | <u>- 0 59 30</u> | |
| 平均 | <u>+ 1 24 53</u> | <u>+ 0 56 38</u> | <u>+ 1 59 40</u> | <u>+ 0 59 23</u> | |
| 距 離 | | | | | |
| 器械高 g | <u>0.800</u> | <u>0.800</u> | <u>0.800</u> | <u>0.800</u> | |
| 反射鏡高 m | <u>1.400</u> | <u>1.900</u> | <u>1.500</u> | <u>2.000</u> | |
| 補正数 dc ₁ | - | - | - | - | |
| " dc ₂ | - | - | - | - | |
| α ₁ + dc ₁ = α ₁ | - | - | - | - | |
| α ₂ + dc ₂ = α ₂ | - | - | - | - | |
| (α ₁ + α ₂) / 2 | - | - | - | - | |
| 測定距離 D | <u>948.083</u> | <u>838.529</u> | <u>1031.468</u> | <u>756.625</u> | |
| 基準面上の距離 S | <u>947.788</u> | <u>838.411</u> | <u>1030.826</u> | <u>756.528</u> | |
| 座標上の距離 S | <u>947.703</u> | <u>838.326</u> | <u>(1031.776)</u> | <u>756.460</u> | |
| 備考 | | | | | |

横浜市道局

72

観測記簿

151

| | | | |
|------------------------|----------------------|---------------|-----------------|
| II 433-2 測点番号() | | X = _____ m | |
| 水準角に関する偏心: $B = P - C$ | | Y = _____ | |
| 高度角に関する偏心: " | | H = 5.2.6.10 | |
| 距離に関する偏心: " | | 縮尺係数 = 0.9999 | |
| 測点名 | II 433-1 | II 433-3 | |
| (偏心距離) | P=C () | P=C () | P=C () P=C () |
| 電算式 | | | |
| 水 平 角 | | | |
| 平均値 | 0 0 0 / 167 14 35 // | | |
| 観測の偏心 | | | |
| 目標の " | | | |
| 端数 | | | |
| 中心の観測角 | 0 0 0 / 167 14 35 // | | |
| 高 度 角 | | | |
| 視準観所 | 甲 | 甲 | |
| 標高 | | 58.560 // | |
| 器高 i_1 | 1.500 // | 1.500 // | |
| " i_2 | | 1.500 // | |
| 目標高 f_1 | 1.500 // | 1.500 // | |
| " f_2 | | 1.500 // | |
| 高度角 a_1 | 1 0 10 12 // | - 0 16 41 // | |
| " a_2 | | + 0 16 32 // | |
| 平均 | | - 0 16 37 // | |
| 距 離 | | | |
| 器高 g | | 1.500 // | |
| 反射鏡高 m | | 1.500 // | |
| 補正数 da_1 | | | |
| " da_2 | | | |
| $a_1 + da_1 = a_1$ | | | |
| $a_2 + da_2 = a_2$ | | | |
| $(a_1 + a_2) / 2$ | | | |
| 測定距離 D | | 217.475 // | |
| 基準面上の距離 S | | 217.470 // | |
| 標高上の距離 S | | 217.451 // | |
| 備考 | | | |

公共測量簿第38号用紙

観 測 記 簿

等 148 測点

X = -70637.547

Y = -26972.927

H = 26.150

水平角に関する偏心: B = C = P

高度角に関する偏心: B = C = P

距離に関する偏心: B = C = P

縮尺係数 = 0.999909

測点名 147 148-11

電算 (偏心距離) P=C() P=C()
NO. 147 148-11

【水 平 角】

| | | |
|------------|---------|----------|
| 平均の偏心値 | 0 00 00 | 47 24 04 |
| 観測目標の零の観測角 | 0 00 00 | 47 24 04 |

【高 度 角】

| | | |
|---------|---------|----------|
| 標器目高 | 32.630 | 10.340 |
| 機高 i1 | | 1.600 |
| "高 i2 | | 1.850 |
| 目標高 f1 | | 1.600 |
| "高 f2 | | 1.850 |
| 高度角 α1' | 0 00 00 | -7 12 52 |
| " α2' | | 7 12 51 |
| 平均 | | -7 12 52 |

【距 離】

| | |
|----------------|---------|
| 器械高 g | 1.600 |
| 反射鏡高 m | 1.850 |
| 補正数 dα1 | |
| 補正数 dα2 | |
| α1' + dα1 = α1 | |
| α2' + dα2 = α2 | |
| (α1 + α2) / 2 | |
| 測定距離 D | 123.876 |
| 基準面上の距離 S | 122.895 |
| 座標上の距離 S | 122.884 |

観測 法則 自己 検査

測点 291
029-1

X = -64002.368 ✓
Y = -25305.556 ✓
H = 41.390 ✓

水平角に関する偏心 : B=C=P ✓
高低角に関する偏心 : B=C=P ✓
距離に関する偏心 : B=C=P ✓

縮尺係数 = 0.999908 ✓ (平均)

測点名 29 42716
029 0427-16

偏心距離

水平角

平均値 0 00 00 ✓ 222 35 51 ✓
観測の偏心
目標の偏心
補零数
中心の観測角 0 00 00 ✓ 222 35 51 ✓

高度角

標高 46.360 ✓
器械高 (i1) 1.900 ✓
器械高 (i2) 1.550 ✓
目標高 (f1) 1.900 ✓
目標高 (f2) 1.550 ✓
高低角 (α1) +1 52 07 ✓
高低角 (α2) -1 52 22 ✓
平均 +1 52 15 ✓

巨距離

測定距離 (D1) 141.282 ✓
測定距離 (D2) ✓
球面距離 141.206 ✓
偏心補正後の距離 ✓
平面距離 141.193 ✓

G P S 測 量 観 測 記 簿

解析ソフトウェア:○○○○○○○

使用した軌道情報:放送暦

使用した楕円体 :WGS-84

使用した周波数 :L1

基線解析モード :全ベクトル解析

セッション名:171A

解析使用データ開始:1996年6月19日 4時27分 UTC

終了:1996年6月19日 5時39分 UTC

最低高度角:15度

気圧:1010hPa 温度:20°C 湿度:50%

観測点 1:10

観測点 2:172

受信機名(NO):○○○○○

受信機名(NO):○○○○○

アンテナ高= 1.450m True Vert

アンテナ高= 1.490m True Vert

起 点 :入力値

終 点 :

緯 度= 35° 6' 2" .10130

緯 度= 35° 6' 9" .08930

経 度=139° 4' 1" .41700

経 度=139° 4' 3" .14770

楕円体高= 39.679m

楕円体高= 57.164m

座標値 X = -3953834.339m

座標値 X = -3953639.680m

Y = 3348108.513m

Y = 3347886.715m

Z = 3707541.172m

Z = 3707976.203m

解析結果

解の種類:FIX

バイアス決定比:100.000

| 観測点 | 観測点 | DX | DY | DZ | 斜距離 |
|-----|-----|----------|-----------|----------|----------|
| 1 | 2 | 194.659m | -221.798m | 435.031m | 525.679m |

| 標準偏差 | DX | DY | DZ |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1.280e-02 | 8.423e-03 | 8.846e-03 | 6.029e-03 |

| 観測点 | 観測点 | 方位角 | 高度角 | 測地線長 | 楕円体比高 |
|-----|-----|----------------|---------------|----------|---------|
| 1 | 2 | 4° 4' 5" .41 | 1° 4' 3" .51 | 525.385m | 17.485m |
| 2 | 1 | 184° 4' 6" .42 | -1° 4' 0" .55 | | |

分散・共分散行列

| DX | DY | DZ | |
|----|----------------|---------------|---------------|
| DX | 1.6373762e-04 | | |
| DY | -8.7302374e-05 | 7.0946929e-05 | |
| DZ | -7.8103457e-05 | 4.5451014e-05 | 7.8251716e-05 |

使用したデータ数 : 573 棄却したデータ数 : 9 棄却率: 2%

使用したデータ間隔: 30秒

RMS = 0.010872 RATIO = 100.000000

計算簿

(一次基準点測量 中心角の計算簿)

中心角の点検計算

401 (理化電機) 測点

外周測点

400 1..... 北江戸

403 2..... 上山小字区

404 3..... 中山小字区

400 4..... 下山小字区

5.....

6.....

7.....

8.....

| 三角形 | (1) | (2) | (3) | (4) |
|---|-----------|----------------|----------------|----------|
| b = | m | m | m | m |
| c = | 247.728 | | | |
| a = | 230.411 | 1.271.243 | 756.429 | 592.545 |
| b ² = | | (5.222 821.22) | (5.682 821.22) | |
| c ² = | | | | |
| -a ² = | | | | |
| I = (b ² + c ² - a ²) = | 測角正負 | | | |
| 2bc = | 観測正負 | | | |
| cos A = I / 2bc = | | | | |
| A = | 121 42 26 | 82 48 9 | 55 46 41 | 38 40 40 |

| 三角形 | (5) | (6) | (7) | (8) |
|---|-----|-----|-----|-----|
| b = | m | m | m | m |
| c = | | | | |
| a = | | | | |
| b ² = | | | | |
| c ² = | | | | |
| -a ² = | | | | |
| I = (b ² + c ² - a ²) = | | | | |
| 2bc = | | | | |
| cos A = I / 2bc = | | | | |
| A = | | | | |

計算式: $\cos A = (b^2 + c^2 - a^2) / 2bc$

$\Sigma A =$ 259 59 36

$\Delta =$

標準 = 4

高低計算



四等三角測量簿第九号用紙

| | | | | | | | | | | |
|----------------------------|----------------------------|-----------------|-----------------|---------------|-----------------|--|--|--|--|--|
| 既 知 点1: | 400 | 101 | | | | | | | | |
| | 求 点2: (→6) | 101 | 103(2) | | | | | | | |
| | $\alpha_1 =$ | -0.5653° | $+1.5726^\circ$ | | | | | | | |
| | $\alpha_2 =$ | | $+0.5622^\circ$ | | -1.5753° | | | | | |
| | $\alpha =$ | | | | | | | | | |
| | S... | 0.3959° | 1.03168° | | | | | | | |
| | tana... | | | | | | | | | |
| | h... | | | | | | | | | |
| | 既 高 同 器 測 求 | 点 $H_1 =$ | 28.720 | 26.010 | | | | | | |
| | 差 $h =$ | | | | | | | | | |
| 差 $k =$ | | | | | | | | | | |
| 高 $i =$ | $+1.200^\circ$ | 0.800° | 0.200° | 1.500° | | | | | | |
| 高 $f =$ | -0.800° | 1.200° | 1.500° | 0.200° | | | | | | |
| 点 $H_2 =$ | 26.000 | 26.020 | 26.210 | 26.200 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | $H_2 =$ | 26.010 | 26.205 | 26.210 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 既 知 点1: | | | | | | | | | | |
| 求 点2: | | | | | | | | | | |
| $\alpha_1 =$ | | | | | | | | | | |
| $\alpha_2 =$ | | | | | | | | | | |
| $\alpha =$ | | | | | | | | | | |
| S... | | | | | | | | | | |
| tana... | | | | | | | | | | |
| h... | | | | | | | | | | |
| 既 高 同 器 測 求 | 点 $H_1 =$ | | | | | | | | | |
| 差 $h =$ | | | | | | | | | | |
| 差 $k =$ | | | | | | | | | | |
| 高 $i =$ | | | | | | | | | | |
| 高 $f =$ | | | | | | | | | | |
| 点 $H_2 =$ | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | $H_2 =$ | | | | | | | | | |